

ステップ3 市民等意見の把握・公表

1. 意見収集と情報公開

【資料 - 1】P I プロセスにおける意見収集と情報公開

メニュー	説 明
ホームページ	有識者委員会や各種イベントの開催・報告等、情報提供を実施。 http://www.kkr.mlit.go.jp/nara/pi/index.html
シンポジウム	基調報告、パネルディスカッションを実施。平成 15 年 2 月に開催。 来場者数 354 名。
P I プロセス 周知キャンペ ーン	大和北道路 P I プロセス・検討状況の説明、アンケート趣旨の説明、 会場からの意見聴取を実施。平成 15 年 3 月に 3 日間開催(各 2 時間)、 延べ来場者数 158 名。
パネル展示	シンポジウムとキャンペーンの開催会場にて、大和北道路に関する情 報をパネルで提供。
事業案内パン フレット	P I 活動での配布の他、奈良国道事務所、奈良県内の各自治体、道の 駅等に常設。2 ヶ月間で 23,000 冊を配布。
新聞広告	シンポジウム告知(半 5 段)、5 大紙(朝日・読売・毎日・産経・日経) 及び地元 3 紙(奈良・京都・奈良日日)で、西日本圏内約 831 万世帯 に掲載。
	アンケート告知(半 5 段)、5 大紙及び地元 3 紙で、西日本圏内約 831 万世帯に掲載。
	有識者委員会開催の告知(半 2 段)、5 大紙及び地元 3 紙で奈良県下、 京都府南部圏内(約 117 万世帯対象)に委員会開催前に掲載。
新聞折り込み チラシ	事業告知。奈良県下、京都府南部対象に約 65 万部折り込み。5 回実施 し、継続中。
	シンポジウム告知。奈良県下、京都府南部対象に約 65 万部折り込み。
	P I 周知キャンペーン告知。奈良北部地域の 4 大紙で約 34 万部折り 込み。
	公聴会告知。奈良北部地域の 4 大紙で約 34 万部折り込み。
ポスター	事業告知。奈良県下、京都府南部地域の市町村、道の駅で約 1,000 部掲 示。
	シンポジウム告知。駅貼り広告(7 日間掲載、96 駅)。奈良県下、京 都府南部地域の近鉄沿線、JR 線で約 500 枚掲示。路線バス車内広告(7 日間掲載)480 台に掲示。
	P I プロセス周知キャンペーン告知。駅貼り広告(7 日間掲載、16 駅)。 奈良北部地域の近鉄沿線、JR 線で約 100 枚掲示。
市町村広報紙	奈良市・大和郡山市に隣接する市町村の広報紙に掲載。
アンケート	大和北道路のルート・構造の推奨案作成のため、住民等から大和北道 路の必要性、期待される機能、配慮すべき事項について意向把握。
公聴会	一般市民を対象に公述人を公募。平成 15 年 5 月に開催。 公述人 14 名。
ヒアリング	意見を聞いておく必要のある内容について意見を聴取。 平成 15 年 3 月から 8 月の間に、有識者委員会において 15 名の識者等 より意見を聴取。
インタビュー	地元の自治会、P T A 等の関係団体を対象として意見を聴取。 平成 15 年 5 月に大和郡山市、平成 15 年 6 月に奈良市で開催。

2. アンケート実施までの事前周知

【資料 - 2】シンポジウムの開催

[出典] 第3回大和北道路有識者委員会（平成14年12月2日開催）
（資料 - 2 - 2）大和北道路P Iプロセスの意見把握の進め方

大和北道路・シンポジウム		
タイトル	みんなで知恵をだしあおう 古代から未来への道「大和北道路」 大和北道路のP Iプロセスについて	
主催	大和北道路有識者委員会	
後援	国土交通省近畿地方整備局、奈良県、奈良市、大和郡山市	
日時	平成15年2月16日(日) 14～17時	
場所	奈良県新公会堂(奈良市春日野町)	
目的	大和北道路P Iプロセスの周知 ○大和北道路の検討状況について、住民等に広く周知し、認識を高める ○住民意識の向上 ○アンケートに向けた雰囲気づくり	
構成		
○主催者挨拶	齋藤 峻彦	近畿大学商経学部経済学科教授
○基調報告 「大和北道路の状況について」	小林 潔司	京都大学大学院工学研究科 土木工学専攻教授
○パネルディスカッション コーディネーター	齋藤 峻彦	近畿大学商経学部経済学科教授
パネリスト		
	飯田 恭敬	京都大学大学院工学研究科 土木工学専攻教授
	大西 有三	京都大学大学院工学研究科 土木システム工学専攻教授
	笹山 晴生	学習院大学文学部史学科教授
	増井 勲	奈良県副知事

【資料 - 3】PIプロセスキャンペーンの開催

[出典] 第7回大和北道路有識者委員会（平成15年3月16日開催）
（資料 - 6）PIプロセスキャンペーン報告

PIプロセスキャンペーン報告

実施結果

平成15年3月7日（金）
大和郡山会場（やまと郡山城ホール）
参加人数：69名（うち報道関係4名）

平成15年3月8日（土）
奈良会場（奈良市西部会館）
参加人数：38名

平成15年3月10日（月）
奈良会場（なら100年会館）
参加人数：51名

配付資料

大和北道路のQ & A
アンケート依頼文
アンケート
大和北道路パンフレット
大和北道路の検討状況
返信用封筒
ボールペン

実施内容

- 大和北道路PIプロセスの説明
 - 大和北道路の検討状況説明
 - アンケートの趣旨説明
 - 会場からの意見聴取
- }（約1時間）
-
- パネル展（大和北道路の検討状況）
 - 質問コーナー
- }（約1時間）

PIプロセスキャンペーン報告

平成15年3月7日(金)大和郡山会場

参加人数：69名(うち報道関係4名)

(意見要旨)

- トンネル案がよいと思う。工法は施工速度の速いシールドトンネルがよい。
- 東、西のルートでは現在の渋滞や交通事故は防げない。したがって、早く中央ルートに決定して、工法については文化財に影響のない手法を考えるべき。
- 大体3分の1の文化財調査が終わっている。大和北道路をつくるために調査が必要なところは重点的に発掘調査を行い対応すればよい。
- 平城宮跡の東を通ることがだめなら、朱雀門の跡を調査して朱雀門を復元したように、文化財の方で120mの朱雀大路を復元し、その下の30m幅で京奈和道をつくる方法を提案したい。
- 通過交通が3割と資料にあるが、道がよくなると通過交通が増えるのではないか。
- 古都奈良が世界遺産に指定されていることに鑑み、道路を計画していくに当たって、それを世界に対してどう説明していくのか。
- 「検討状況」の4つのエリアで十分検討を進めてもらいたい。
- 平城宮跡を壊すような行為をしてまで高速道路をつくるべきではない。現状の交通量からすれば、国道24号を4車線化すれば何とかかなるのではないか。
- 4つのルート案はいずれもバッファゾーンもしくはハーモニーゾーンを通過している。国際的な問題になるおそれがある。世界遺産委員会、あるいは世界遺産センターとの関係でどのように議論を詰めていこうと考えているのか。
- 地下水検討委員会の検討結果については、一部批判的な意見が出ている。それに対して答えていくつもりがあるのか。
- 朝夕の交通渋滞、観光シーズンの渋滞。大和北道路の整備によってこれらすべてが解消するわけではない。もっと総合的な形での渋滞解消対策が必要である。
- 奈良市は京都とセットで観光面でのつながりが深い。一方、大和郡山市は物流センターが一つの特徴。それらの特徴を活かし、活性化するためにはバイパス的な整備がよい。
- 世界遺産を当然十分配慮すべきだが、経済の活性化、大和郡山市でいえば物流センターとの連絡性をいかによくするかが非常に重要。
- ルートを決めるに当たって東、西へ振らないで欲しい。しかし、文化財を壊せという意味ではない。文化財との共存を図っていくのが一番よい。
- そんなに大切な文化財がないと思われる平城宮跡の東側の外れのルートは調査を早くすれば早くできるのではないか。
- 起終点をもう少し柔軟に考えればよい。大和中央道を活用するルートを考えるべき。
- 大和中央道を利用するルートがよい。
- 保津から郡山インターまでの風景をこれまでずっと見てきた。最近、連続した橋脚ができはじめている。その辺一帯の景観は既にこわされている。

PIプロセスキャンペーン報告

平成 15 年 3 月 8 日 (土) 奈良会場

参加人数：38 名

(意見要旨)

- 4 つのルート帯はいずれも世界遺産のバッファゾーンを通過しているが、起終点を動かしがたいものとしているからこういう問題が生じる。
- 奈良市長は西大寺とか大安寺を世界遺産に追加登録と発言されている。追加登録の予定地も含めて避けるべき。
- シンポジウムで大気汚染は心配いらぬとの発言あり。大気汚染によって文化財等にいろいろな影響が出ている現状を鑑みれば大気汚染は深刻な問題だと思う。
- 地下水検討委員会の結果が非常にずさんだと言われている方がいると聴いている。きちんと地下水に関する調査をした上でルートを検討すべき。
- 地下水については有識者委員会においてきちんに対応して欲しい。有識者委員会としては地下水検討委員会での検討結果を尊重する趣旨は理解できるが、もう少し柔軟に対応できないか。
- 住民の声が有識者委員会にきちんと届くシステムを作って欲しい。
- 中央エリアを通過して、平城宮跡の下をくぐって効率的な道路をつくるべき。
- 現実的なルートとしては国道 24 号の上に高架をつくるルート。
- 大和北道路は非常に重要な道路なので早くつくるべき。文化財を軽視するのではなく、十分文化財にも配慮しながら早く道路をつくってほしい。具体的には中央ルートがよい。
- 環境とか費用とかをマトリックス状に検討結果を整理する。どれがベターなのか一般の人が分かるような形で示してもらいたい。
- 特に奈良県南部に行くのに時間がかかる。非常に道路が混雑しているため行動範囲が制約されている。早く道路を整備して行動範囲を広げることをきちんとしてほしい。
- 平城宮跡の下をトンネルで通す案は委員会の検討案からはずされたが、住民からその案の復活の意が出た場合、検討の対象とするのか。
- 4 つのルート帯以外に京都と同じように文化密度の高い中心地を避けて、どこか遠いところに高速道路をつくる案を考えるべき。
- 西側ルートは良好な住宅地で高速道路を通すのは現実的でない。東側ルートは危険物積載車両の通行が規制され非常に問題のあるルート。
- 24 号の高架案。法華寺～郡山間を高架橋にしたらよい。
- 大和北道路を有料とするのは非常に困難。
- 本来、高速道路のトンネルに危険物積載車両を通すべきではないのではないのか。
- 起終点をもっと柔軟に。具体的には学研の方から押熊、富雄川等を通過するルートも考えられる。

PIプロセスキャンペーン報告

平成15年3月10日(月) 奈良会場

参加人数：51名

(意見要旨)

- 検討状況のルート案はいずれもバッファゾーン、ハーモニーゾーンを通過している。これで文化財を守っていけるのか危惧している。
- 平城宮跡直下の案を検討の対象から外したことについては評価する。
- 世界遺産委員会(イコモス)の専門家の意見を聞く必要がある。
- 京奈和自動車道によって古代の人が残してくれた遺産、平城宮を壊さないでほしい。
- 地下水について専門家の方々が大丈夫だという結論を出されているが、大自然の摂理はなかなか簡単に予測できるものではない。
- 換気塔について。景観上の問題と排ガスによる周辺の大気汚染の問題。
- 渋滞問題の解決策は、もっと検討を重ね、みんなが納得できる生活道路をまず考えるべき。
- 大和北道路が高速道なら、例えば京都方面へ行くとき非常に使いにくい。
- 24号を通過している交通が3割。全て大和北道路に転換するのか疑問。
- 柏木町付近の沿道には大規模商業施設が立地。渋滞対策として国道24号を立体化していくことも大和北道路とは別に検討すべき。
- 大和郡山から和歌山県境の区間を早く整備すべき。そうすれば大和北道路も自然とできるようになる。
- 検討状況の案はいずれもバッファゾーンもしくはハーモニーゾーンを通るようになっていくが、今の道路を活かして交通問題に対応していくことを考えなければならない。
- 奈良のバッファゾーン、ハーモニーゾーンの中から大型車を排除し、まちの中では小さな車で人やものを移動させるべき。
- 24号の立体化もしくは拡幅するなどの方法が考えられる。
- 行き止まりをなくし、現在の道路をネットワーク化する。きちんと目的地に行けるような道路を整備する。
- 大阪や京都向けには、バイパスをもっと充実させるべき。
- 高速道路にこだわらず、もっと公共交通機関を利用することをPRすべき。
- 大和北道路が整備されれば県外からさらに多くの自動車が来るようになる。それが果たして奈良にとって良いことなのか。
- 地下水は現状ではきちんと解明しきれていないのではないかと指摘がある。疑わしきは実施せずを基本スタンスに。
- 文化財の調査をもっと促進して調査が終わってからトンネルに着手してもいいのではないか。それまでの間は国道24号の交差点立体等で対応すれば良い。
- 今後さらなる県民の負担増となる道路計画は進めるべきでない。
- 中央ルートではなく、平城宮跡を大きく外して東の山中へトンネルを掘るのがよい
- 京奈和自動車道が奈良のところで途切れている。高速道路はつながないと意味がない。観光客の減少に歯止めをかけるためには、自動車の利用率の高い若い層が来訪しやすいように道路整備を進めるべき。
- シールド工法による悪影響等を検討しなければならないが、トータルでは地下案がいいのではないか。

3. アンケート調査

(1) 無作為抽出アンケートの実施概要

【資料 - 4】無作為抽出アンケートの実施概要

[出典] 第 12 回大和北道路有識者委員会 (平成 15 年 5 月 16 日開催)
(資料 - 3) アンケート一次集計結果の報告

無作為抽出アンケートの実施概要

大和北道路有識者委員会では、大和北道路について、計画づくりの初期の段階から、情報を広く公開した上で、関係する自治体や地域住民の方々など方面の人々に対し、アンケート調査など多様な手段で意向を把握し、これらを計画づくりに反映する道路計画プロセス (P I プロセス) を導入し、検討を進めております。

今回、アンケート調査を、平成 15 年 3 月 8 日から奈良市、大和郡山市、奈良県内の京奈和自動車道沿線市町、その他奈良県、京都府南部地域、大阪府全域、和歌山県北部地域にお住まいの方、5,400 人を対象に実施、4,166 人の方々にご協力を得られ、有効回答数 4,070 となっております。

調査概要及び調査結果は以下のとおりです。

調査概要

< 実施期間 >

- ・ 平成 15 年 3 月 8 日 ~ 4 月 16 日

< 調査対象エリア等 >

- ・ 大和北道路の計画エリアで、直接影響を受ける奈良市、大和郡山市を中心に、奈良県内の京奈和自動車道の沿線市町 (天理市、橿原市、五條市、大和高田市、御所市、川西町、三宅町、田原本町) にアンケートを多く設定
- ・ また、広域的な範囲 (奈良県全域、京都府南部地域、大阪府全域、和歌山県北部地域) についても、客観的な意向を把握出来るようにアンケート数を設定

< 調査対象 >

- ・ 20 歳以上

< 調査方法 >

- ・ 訪問留置方法 (調査員が調査対象者の自宅を訪問し、調査票を留置し、数日後に再訪問し調査票を回収する方法)

< 抽出方法 >

- ・ 住民基本台帳より各種世論調査で一般に用いられている公正で偏りのない抽出方法 (層化二段無作為抽出法) によって抽出

< 調査対象者の抽出 >

- ・ 奈良市、大和郡山市域については、奈良県が一般的に行っている世論調査等の抽出率 1/200 を用い、住民数に対して抽出（1,800 人）
- ・ その他奈良県の市町村は、 の対象者数と同じになるように抽出（1,800 人）
- ・ 京都府南部地域、大阪府、和歌山県北部地域は、 の 1/3 を各地域において抽出（3×600 人）
- ・ 合計で、5,400 人の方々にに対してアンケート調査を実施
- ・ 上記方法により 5 つのエリアを設定
 - a. 奈良市・大和郡山市
 - b. その他奈良県
 - a. 以外の奈良県（天理市、川西町、三宅町、田原本町、橿原市、大和高田市、御所市、五條市、桜井市、生駒市、香芝市、月ヶ瀬村、都祁村、山添村、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、大宇陀町、菟田野町、榛原町、室生村、曽爾村、御杖村、高取町、明日香村、新庄町、當麻町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、西吉野村、天川村、野迫川村、大塔村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村）
 - c. 京都府南部
京都府内の京奈和自動車道沿線の市町（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町、山城町、木津町、加茂町、笠置町、和束町、精華町、南山城町）
 - d. 和歌山県北部
和歌山県内の京奈和自動車道沿線の市町（和歌山市、橋本市、打田町、粉河町、那河町、岩出町、かつらぎ町、高野口町）
 - e. 大阪府
大阪府内の市町村（豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町、大阪市、守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四条畷市、交野市、堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、高石市、藤井寺市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村、美原町）

< 有効回答数 >

- ・ 全体で 4,166 人のご協力を得られ、有効回答数 4,070 であった（回収率約 75%）
- ・ 地域別の有効回答数は、奈良市・大和郡山市 1,362、その他奈良県 1,430、京都府南部地域 447、大阪府全域 394、和歌山県北部地域 437 である。

< 地域別のデータの見方 >

- ・ 総数の集計結果は、抽出率の異なる地域を単純合計したものであり、抽出率の高い奈良市、大和郡山市及び京奈和自動車道沿線市町の意向を強く反映したものになっている。

< グラフの数値（%）について >

- ・ 各グラフの%の合計値は、四捨五入の関係で 100%にならないものがある。



京奈和自動車道 「大和北道路」に関する アンケート調査

◎ご記入にあたってのお願い◎

- [1] 調査対象の方ご本人がご回答ください。
 - [2] ご回答は、黒か青色のボールペンでお願いします。
 - [3] ご回答の際は、質問 1 から最後の質問まで、順に読みの上、
お願いします。
 - [4] ご回答の仕方・ご記入の方法は、下記の注意を参照してください。
- 選択肢が限られている質問では、あなたが最もよく当てはまると
お考えになる項目をお選び願います。

■アンケートの回収について

アンケートの回収は、この冊子そのものを回収させていただきますのでご了承ください。

■この調査の内容などについてのご質問は、下記アンケート調査係まで お問い合わせください。

大和北道路有識者委員会 事務局

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所

アンケート調査係 電話:0120-114-648 (フリーダイヤル)

(受付時間:午前9:00～午後6:00 日曜・祝日は除く)

大和北道路有識者委員会

< アンケート調査票 > 2 ページ目 / 6 ページ

アンケートにご協力をお願い

「大和北道路」は、京都府の木津インターチェンジから西名阪道の郡山インターチェンジを結ぶ道路で、京都市から奈良県下を通り和歌山市にいたる京奈和自動車道の一部として想定されている道路です。
(詳しくは、別冊「大和北道路(京奈道路～西名阪道)の検討状況」をご覧ください)

現在、※^A大和北道路有識者委員会では、一般の方々に情報を公開した上でご意見を広く聴き、反映させる方法である※^BPIプロセスを導入し、行政機関が「大和北道路」の計画を考える際に配慮すべき点を提言するため、議論をかさねています。

つきましては、「大和北道路」に関係する地域の皆さまからご意見をお聞きするため、このアンケートを実施することになりました。

お忙しいところ恐縮に存じますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますようお願いいたします。

なお、アンケートご記入の参考として「大和北道路パンフレット」および「大和北道路の検討状況」を同封しますので、ご覧のうえお答えいただければ幸いです。

皆さまからいただいたご意見は、統計処理をいたしますので、ご協力いただいた方に迷惑をおかけすることはありません。また他の目的でアンケートを使用することはありません。

いただいたご意見は、貴重な資料として、本委員会の今後の検討に活用させていただきます。

ご協力の程をどうかよろしくお願いいたします。

平成15年2月

大和北道路有識者委員会
委員長 斎藤 峻彦

※B

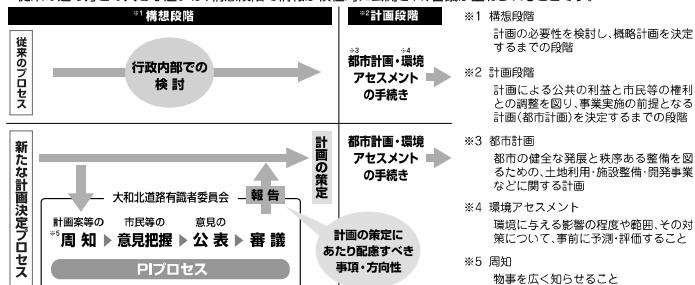
PI (Public Involvement) プロセスとは？

計画の段階から一般に情報を公開したうえで、広く意見を聴き、反映させる方法のことです。従来の進め方との大きな違いは、構想段階で情報が積極的に公開され、審議が重ねられることです。



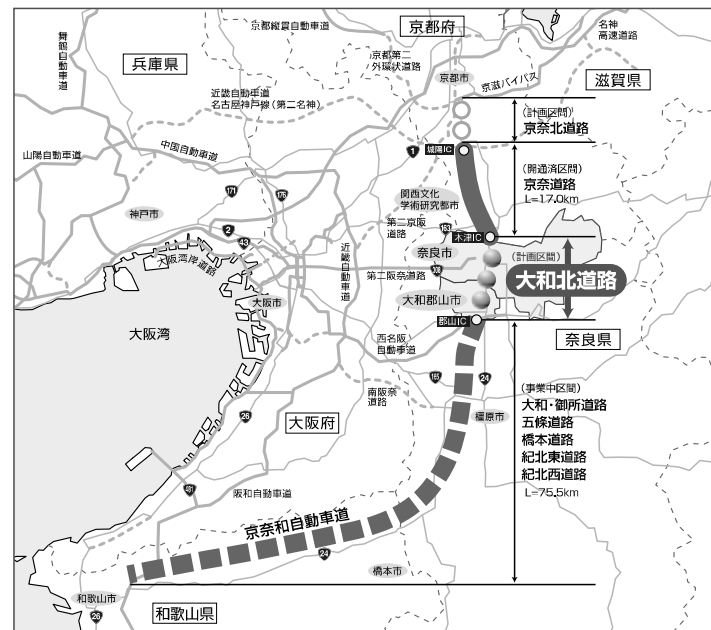
■PIプロセスに基づく計画の進め方

従来の進め方との大きな違いは、構想段階で情報が積極的に公開され、審議が重ねられることです。



●京奈和自動車道「大和北道路」とは？

大和北道路は、京都市から和歌山市間をつなぐ京奈和自動車道の一部で、京都府との境から西名阪自動車道までの区間の名称です。



凡例	京奈和自動車道	大和北道路	他の自動車専用道路	一般国道
	開通区間	事業中	計画	計画
	開通区間	事業中	計画	計画

※A

大和北道路有識者委員会とは？

平成14年9月に設立された、「大和北道路」の計画案等について審議し、提言する第三者機関です。当委員会は、大和北道路の計画において、手続の透明性、客観性、公平さを確保するため、中立的な立場からPIプロセスの進め方について審議、評価し、意見の把握、分析を行い、それらを踏まえて推奨すべき計画案を提言していきます。

大和北道路有識者委員会

〈委員長〉
近畿大学商経学部経済学科教授 斎藤 峻彦

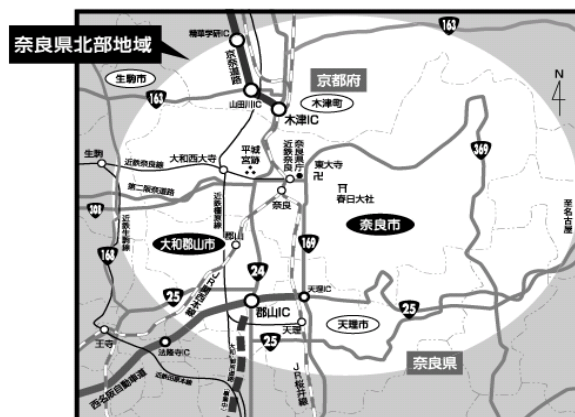
〈委員〉
京都大学大学院工学研究科教授 飯田 恭 敬
京都大学大学院工学研究科教授 小林 潔 司
奈良女子大学名誉教授 近藤 公 夫
〈財〉元興寺文化財研究所長 坪井 清 足
神戸大学大学院法学研究科教授 山下 淳

< アンケート調査票 > 3 ページ目 / 6 ページ

● 奈良県北部地域



奈良県北部地域には南北方向をつなぐ幹線道路として国道24号と169号が、また東西方向には国道25号や163号、308号があります。南北・東西をつなぐ道路が交わっている北部地域は常に交通量が多い状況となっています。



質問 1. 奈良県北部地域における道路交通事情についてお聞きます。

問1-1. 奈良県北部地域の道路交通に対して、普段あなたが感じていることについて、それぞれの項目毎に1つずつ選んで○をつけてください。

(1) 奈良県北部地域の渋滞状況

1. かなり渋滞があると思う
2. 渋滞があると思う
3. あまり渋滞はないと思う
4. 渋滞はないと思う
5. わからない

(2) 幹線道路の渋滞がひどく、住宅周辺の生活道路にまで車が入り込み、抜け道として利用されること

1. かなり問題があると思う
2. 問題があると思う
3. あまり問題はないと思う
4. 問題はないと思う
5. わからない

(3) 国道や県道などの幹線道路周辺の生活環境(大気汚染、騒音など)

1. かなり問題があると思う
2. 問題があると思う
3. あまり問題はないと思う
4. 問題はないと思う
5. わからない

問1-2. 奈良県北部地域の交通状況について、普段あなたが感じていることや、困っている点がありましたら具体的にお書きください。

< アンケート調査票 > 4 ページ目 / 6 ページ

問1-3. あなたは、国道24号をどれくらいの頻度でご利用になりますか。
次の中から1つ選んで○をつけてください（同乗者としての利用も含みます）。

1. ほぼ毎日
2. 週に2～3回位
3. 月に3～4回位
4. 月に1～2回位
5. 年に数（1～4）回位
6. 利用しない

問1-4. 奈良県北部地域における交通問題の対策についてお聞きます。
現在の国道24号の交通状況からみて道路整備が必要と感じますか。
最もよく当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問1-6へお進みください

問1-5. 奈良県北部地域の道路をどのように整備していけばよいと思いますか。
最もよく当てはまる番号を各項目ごとに1つ選んで○をつけてください。

そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
------	------------	---------------	------------

- (1) 高速道路網につながる自動車専用道路を整備すべき → 4 3 2 1
- (2) 国道や県道などの幹線道路を整備すべき → 4 3 2 1
- (3) 住宅周辺の道路を整備すべき → 4 3 2 1

問1-6. 国道24号の交通状況等について、具体的な意見がありましたらお書きください。
（例えば、どのような整備をしていくべきか？ 整備の必要がないなら、どうしてそう思うのか？）

質問2. 大和北道路を知っていますか。

問2-1. あなたは大和北道路のことをご存じでしたか。
次のうちで該当するものを選んで○をつけてください。

1. よく知っている
2. だいたい知っている
3. 聞いたことがある
4. 知らない

問2-2. 何で「大和北道路」をお知りになりましたか。
次のうちで該当するものを選んで○をつけてください。（複数回答可）

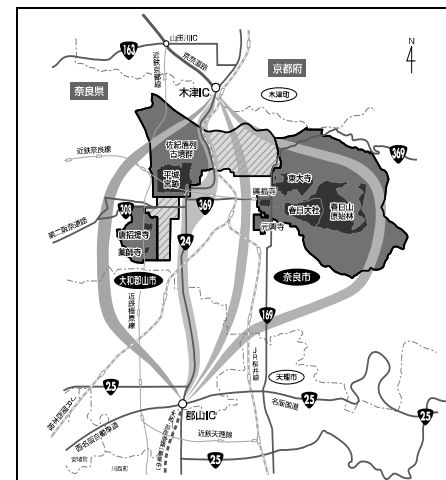
1. 委員会主催のシンポジウム
2. 奈良国道事務所のホームページ
3. パンフレット
4. ポスター・チラシ
5. 新聞
6. テレビ
7. その他（ ）

質問3. 大和北道路について、お伺いします。

現在、検討されている大和北道路のルートは右図のとおりです。
また、構造については、高架構造、トンネル構造およびその組み合わせを検討しています。
詳しくは、別冊「大和北道路（京奈道路～西名阪道）の検討状況」をご覧ください。次ページの質問にお答えください。

凡 例

- 世界遺産登録資産
- 緩衝地帯（バッファゾーン）
遺産の周辺環境を効果保護するための区域
春日山地区、平城宮跡地区、西ノ京地区の3ヶ所に設けられています。
- 歴史的環境調整区域（ハーモニーゾーン）
環境保全と都市開発との調和を図るための区域
世界遺産の一体的保全のため各種緩衝地帯の間に設けられています。



< アンケート調査票 > 5 ページ目 / 6 ページ

問3-1. 大和北道路が整備されることによって、期待される効果として、次の(1)～(10)のことが考えられます。
それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

- | | 重 要 | やや重要 | あまり重要ではない | 重要ではない | わからない
答えられない |
|---|-----|------|-----------|--------|-----------------|
| (1) 奈良中心市街地に円滑に到着できる | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (2) 観光シーズンのようにクルマが多い時期でもスムーズに走れて、目的地へ予定時間に着ける | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (3) 急ぎの用事のときに早く移動できる | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (4) 国道24号など幹線道路の混雑が緩和される | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (5) 国道24号など幹線道路の交通事故が減少し、沿道環境が改善される | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (6) 幹線道路から生活道路に入ってくる車を減らす | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (7) 住宅地内の生活道路で交通事故が減少し、住環境が改善される | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (8) 大きな事故や災害などが起きたときでも代替経路が確保できる | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (9) 道路交通を円滑にして、奈良の地域経済や観光産業が活性化される | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (10) 近畿圏全域を結ぶ広域的な高速道路ネットワークが実現する | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |

問3-2. 大和北道路を検討する際に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。
次の(1)～(10)のそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

- | | 重 要 | やや重要 | あまり重要ではない | 重要ではない | わからない
答えられない |
|---|-----|------|-----------|--------|-----------------|
| (1) 平城宮跡をはじめとする歴史文化財への影響を避け、その環境を守る | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (2) 地下水への影響をできるだけ避け、木簡などの埋蔵文化財の保全に配慮する | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (3) 平城宮跡から若草山、東大寺の眺望や、若草山からの眺望など、歴史的景観に配慮する | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (4) 春日山原始林等の豊かな自然環境を保全する | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (5) 沿道地域に対する騒音・大気汚染などの環境対策を適切に行う | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (6) 住宅地及びその周辺の生活環境を保全する | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (7) 道路をつくるために移転しなければならない建物等をできるだけ少なくする | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (8) できるだけ安い費用で道路をつくる | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (9) インターチェンジを利用する交通の沿道への影響をできるだけ少なくする | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |
| (10) 大和北道路の整備にあわせて、国道24号など道路網全体の交通の流れを適正化する諸方策を実施する | → 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1 | ・ * |

< アンケート調査票 > 6 ページ目 / 6 ページ

問3-3. 前頁の問3-1、問3-2の項目のいずれかに対して、もし具体的なご意見があれば、ご自由にお書きください。また、それ以外にあなたが重要だと考えられることがあれば、ご自由にお書きください。

質問 4. 大和北道路有識者委員会は、大和北道路の計画の検討を進めておりますが、この検討に対し、ご意見やご要望がありましたら、具体的にお書きください。

質問 5. あなたご自身のことについてお聞きします。

(1) 性 別

1. 男性 2. 女性

(2) 年 齢

1. 20～29才 3. 40～49才 5. 60～69才
2. 30～39才 4. 50～59才 6. 70才以上

(3) 職 業

1. 自営業 3. 会社員・公務員・団体職員 5. 家事専業 7. 学生 9. その他 ()
2. 自由業 4. 会社・団体役員 6. パート・アルバイト 8. 無職

(3-1) あなたはクルマを運転される職業ですか。

※例えば、輸送（トラック、タクシー、バス等）関係、サービス業の営業回り等1日の大半をクルマ利用される方も含みます。

1. はい 2. いいえ

(4) 住 所

- () 府・県
() 市・郡
() 町・村

※記入例

- (奈良) 府・
(奈良)  郡
(秋篠新)  村

(5) 自動車免許の有無

1. 持っている 2. 持っていない

(6) 世帯の自動車の保有数

1. ある→台数 () 台 2. ない

(7) ご自宅のクルマをあなたはどれくらい運転しますか。

次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. ほぼ毎日 3. 月に3～4回位 5. 年に数（1～4）回位
2. 週に2～3回位 4. 月に1～2回位 6. 運転しない

(8) ご自宅のクルマをどのような目的で運転されますか。

次のうちで該当するものを選んで○をつけてください。（複数回答可）

1. 仕事関係 3. 買い物など日常の家事 5. その他 ()
2. 通勤・通学 4. 週末のドライブなど（買い物・レジャーなど）

ご協力ありがとうございました

(2) 選択肢回答の結果

【資料 - 5】道路交通状況、道路整備に係るアンケートの結果

[出典] 第 12 回大和北道路有識者委員会 (平成 1 5 年 5 月 1 6 日開催)

(資料 - 3) アンケート一次集計結果の報告

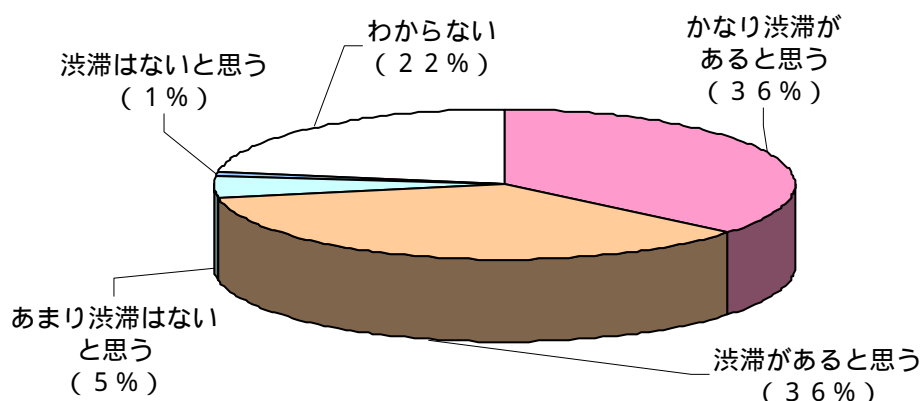
■ 道路交通状況に係るアンケート結果

(1) 奈良県北部地域の渋滞状況

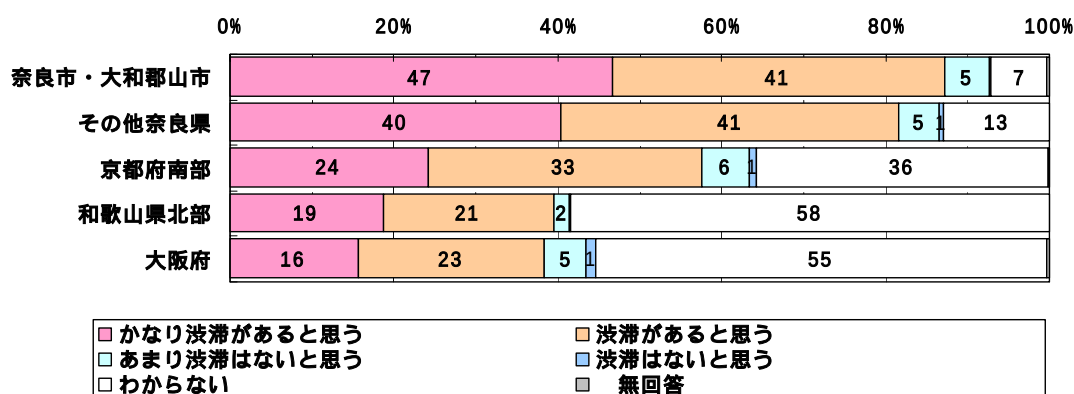
回答者の 7 2 % が奈良県北部地域の道路は渋滞がある (「 かなり渋滞があると思う 」 「 渋滞があると思う 」) と感じている一方、回答者の 6 % は渋滞はない (「 渋滞はないと思う 」 「 あまり渋滞はないと思う 」) と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、渋滞があると感じている人の割合が、奈良市・大和郡山市 (8 8 %) 及びその他奈良県 (8 1 %) で高くなっています。これに比べると、和歌山県北部 (4 0 %) 及び大阪府 (3 9 %) は低くなっています。

(1) 奈良県北部地域の渋滞状況 (総数)



(1) 奈良県北部地域の渋滞状況 (居住地別集計)

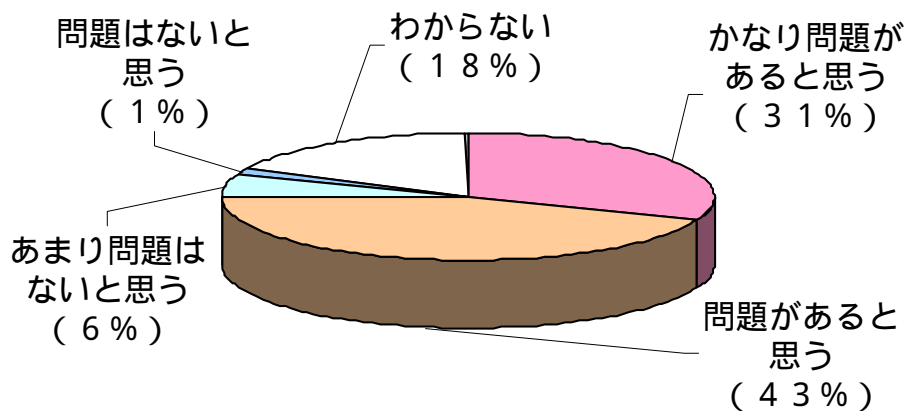


(2) 幹線道路の渋滞がひどく、住宅周辺の生活道路にまで車が入り込み、抜け道として利用されること

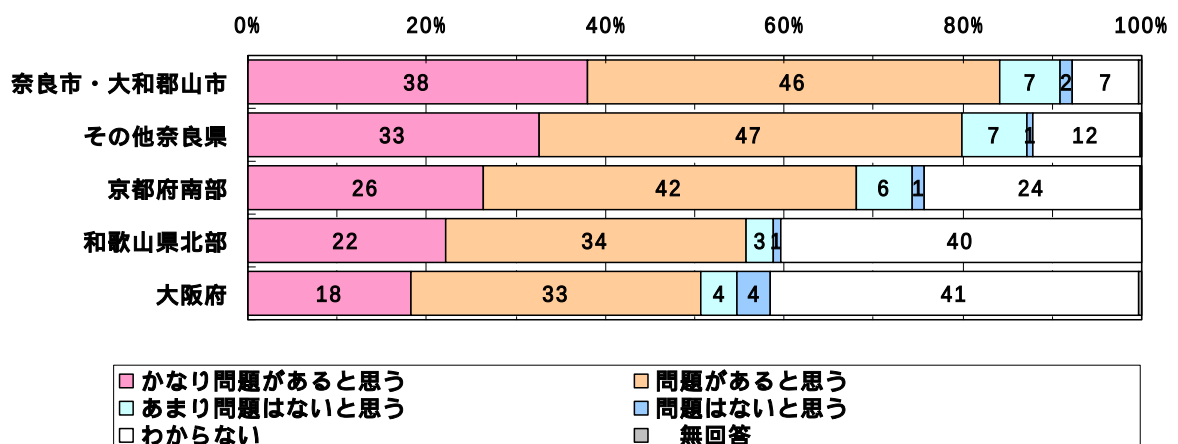
回答者の74%が幹線道路の渋滞時に生活道路を抜け道として利用されることを問題がある(「かなり問題があると思う」「問題があると思う」と感じている一方、回答者の7%は問題はない(「問題はないと思う」「あまり問題はないと思う」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、問題がないと感じている人の割合が、奈良市・大和郡山市(84%)及びその他奈良県(80%)で高くなっています。これに比べると、和歌山県北部(56%)及び大阪府(51%)は低くなっています。

(2)生活道路を抜け道として利用(総数)



(2)生活道路を抜け道として利用(居住地別集計)

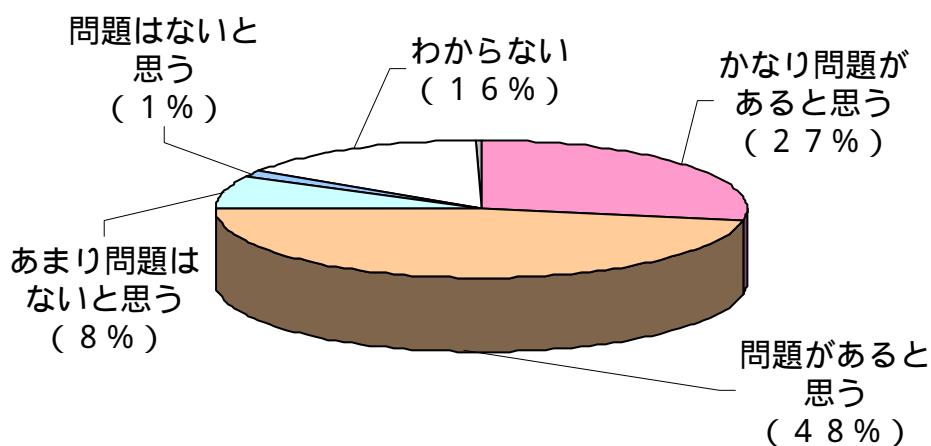


(3) 国道や県道などの幹線道路周辺の生活環境（大気汚染、騒音など）

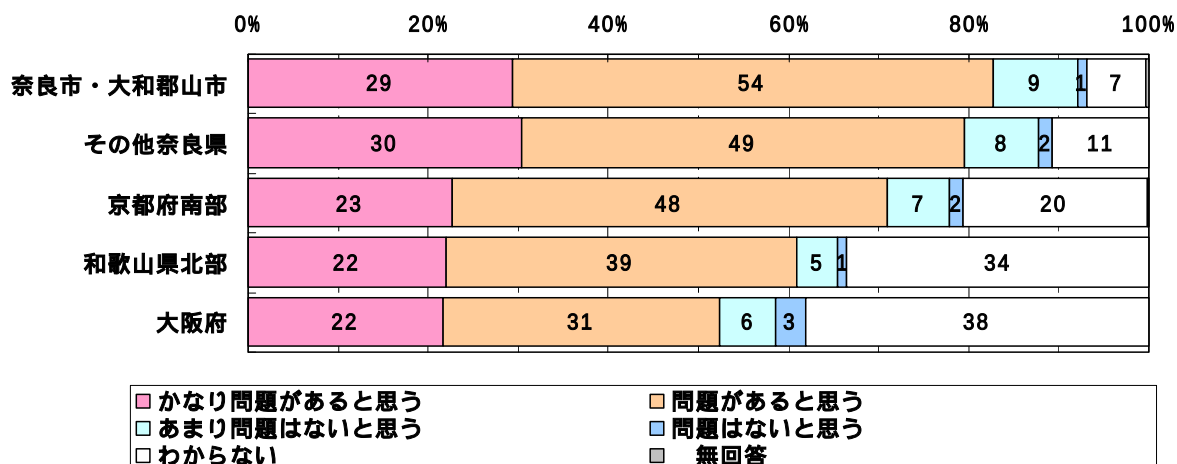
回答者の75%は、幹線道路周辺の生活環境に問題がある（「かなり問題がある」「問題がある」）と感じている一方、回答者の9%は問題はない（「問題はないと思う」「あまり問題はないと思う」）と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、問題があると感じている人の割合が、奈良市・大和郡山市（83%）及びその他奈良県（79%）で高くなっています。これに比べると、大阪府（53%）は低くなっています。

(3) 幹線道路周辺の生活環境（総数）



(3) 幹線道路周辺の生活環境（居住地別集計）



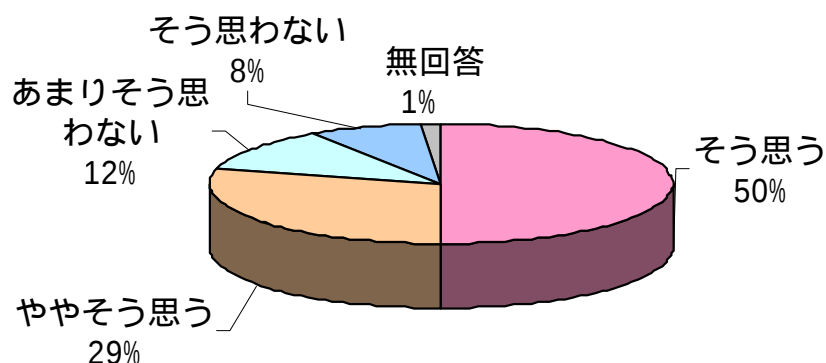
■道路整備に係るアンケート結果

(1) 現在の国道24号の交通状況からみた道路整備の必要性

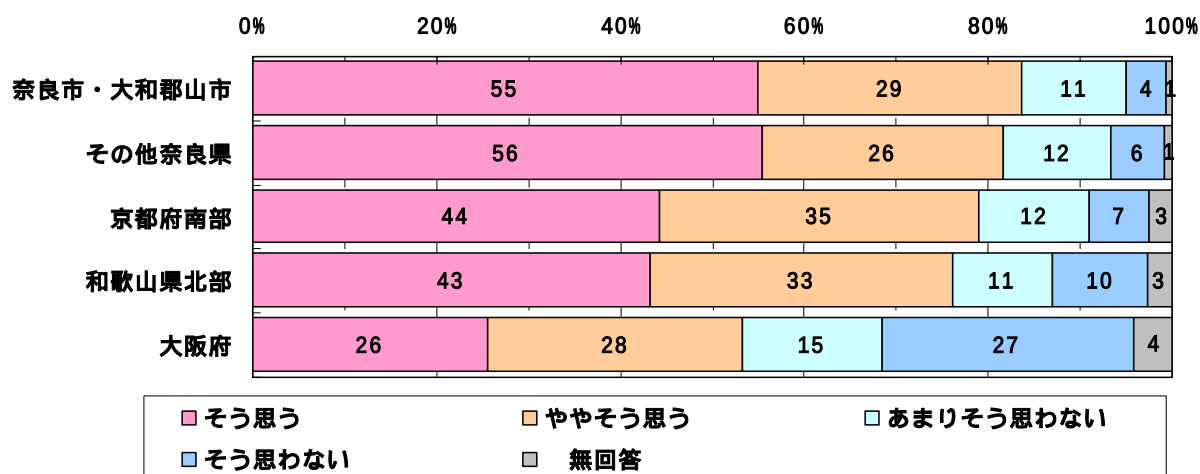
回答者の79%が、現在の国道24号の交通状況からみて奈良県北部地域の道路整備の必要性について「そう思う」「ややそう思う」と感じている一方、20%は「そう思わない」「あまりそう思わない」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、「そう思う」「ややそう思う」と感じている人の割合が、奈良市・大和郡山市(84%)及びその他奈良県(82%)で高くなっています。これに比べると、大阪府は52%と低くなっています。

奈良県北部地域の道路整備の必要性(総数)



奈良県北部地域の道路整備の必要性(居住地別集計)



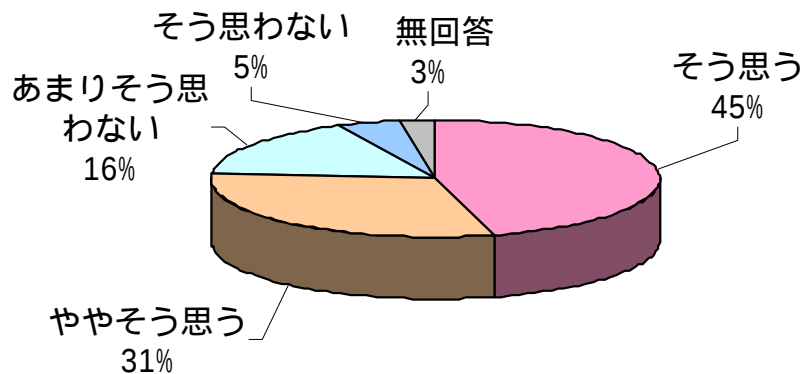
(2) 奈良県北部地域における道路整備のあり方

イ. 高速道路網につながる自動車専用道路を整備すべき

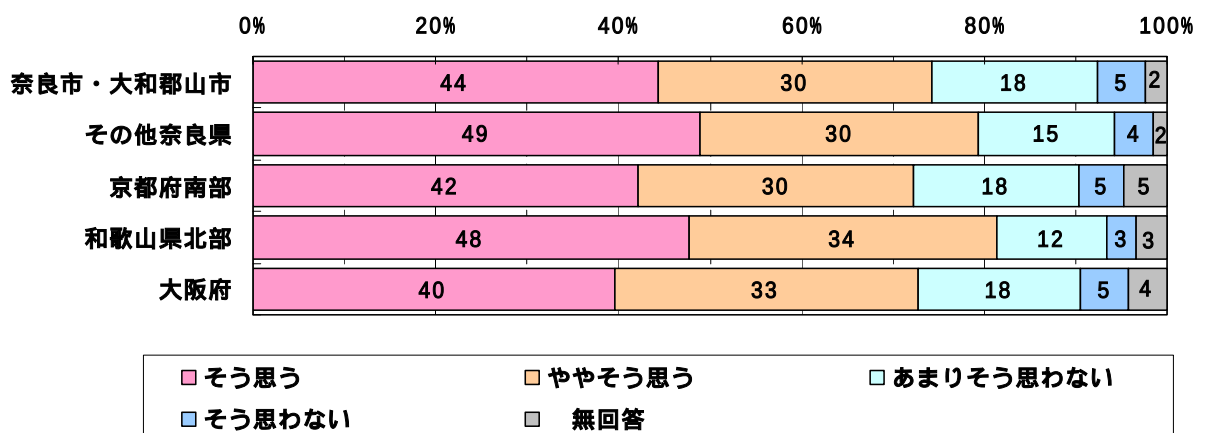
回答者の76%が、高速道路網につながる自動車専用道路の整備について「そう思う」「ややそう思う」と感じている一方、21%は「そう思わない」「あまりそう思わない」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、「そう思う」「ややそう思う」と感じている人は、各エリアとも70%以上となっており、和歌山県北部(82%)に次いで、その他奈良県(79%)となっています。

(1) 自動車専用道路を整備すべき(総数)



(1) 自動車専用道路を整備すべき(居住地別集計)

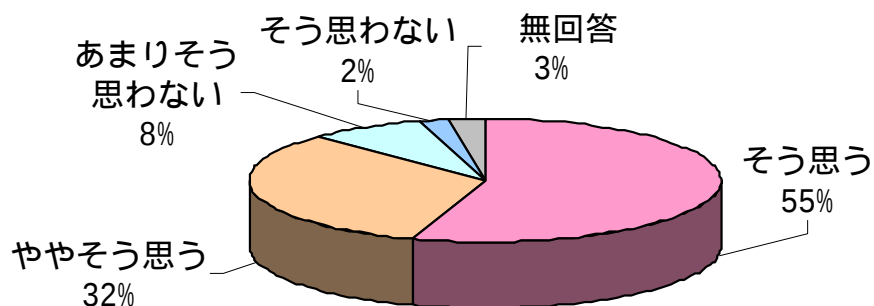


ロ．国道や県道などの幹線道路を整備すべき

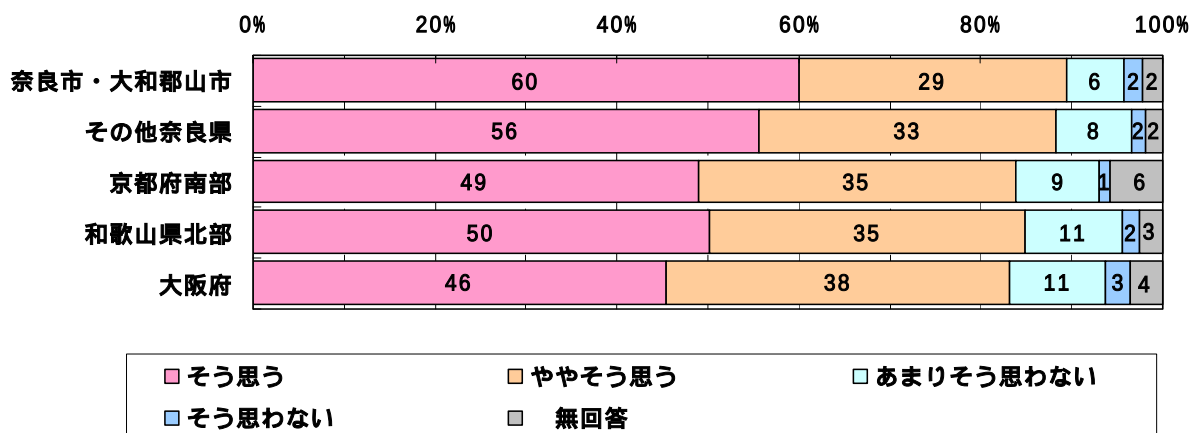
回答者の８７％が、国道や県道などの幹線道路の整備について「そう思う」「ややそう思う」と感じている一方、１０％は「そう思わない」「あまりそう思わない」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、すべてのエリアで「そう思う」「ややそう思う」と感じている人の割合が、８０％以上と高くなっており、奈良市・大和郡山市（８９％）に次いで、その他奈良県（８９％）となっています。

(2) 幹線道路を整備すべき（総数）



(2) 幹線道路を整備すべき（居住地別集計）

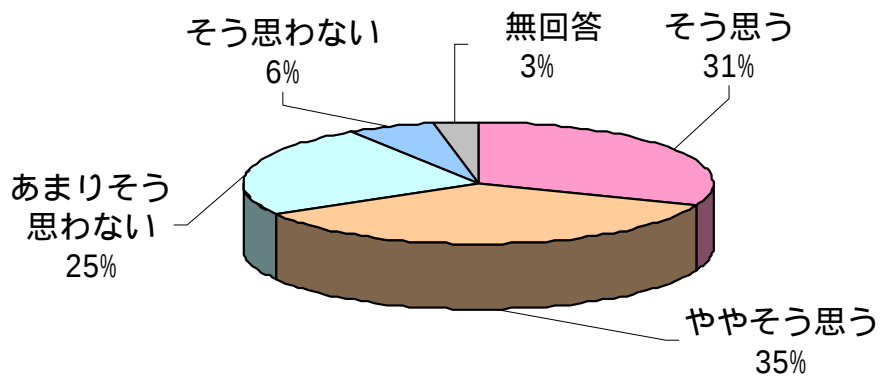


ハ．住宅周辺の道路を整備すべき

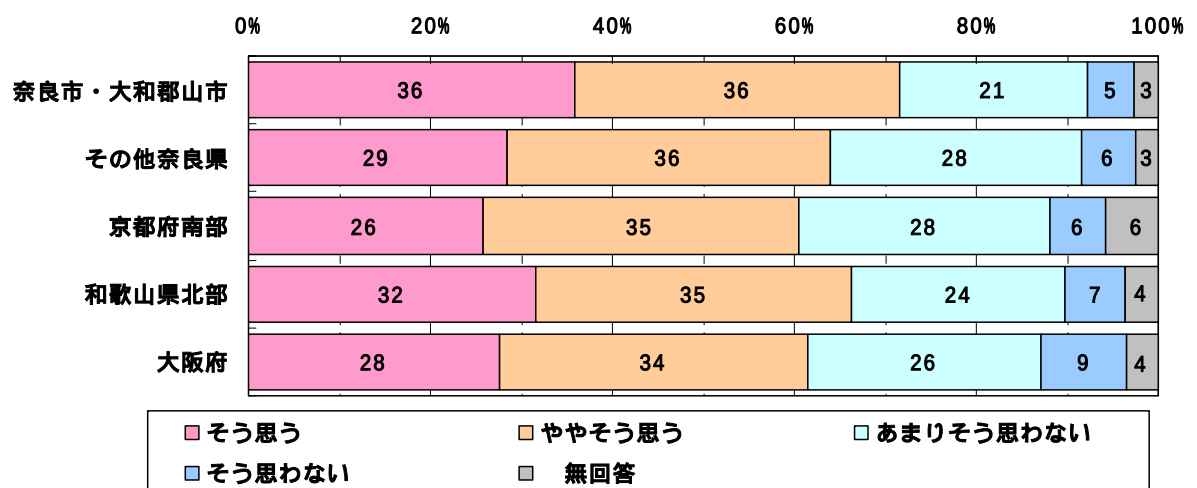
回答者の66%が、住宅周辺道路を整備について「そう思う」「ややそう思う」と感じている一方、31%は「そう思わない」「あまりそう思わない」と感じています。

また、回答者の居住地別に集計した結果では、「そう思う」「ややそう思う」と感じている人の割合が、奈良市・大和郡山市（72%）と高くなっており、次いで和歌山県北部（67%）、その他奈良県（65%）となっています。

(3) 住宅周辺道路を整備すべき（総数）



(3) 住宅周辺道路を整備すべき（居住地別集計）



【資料 - 6】期待される効果に係るアンケートの結果

[出典] 第 12 回大和北道路有識者委員会 (平成 15 年 5 月 16 日開催)

(資料 - 3) アンケート一次集計結果の報告

< 質問 3 > 大和北道路について、お伺いします。

問 3 - 1 . 大和北道路が整備されることによって、期待される効果として、次の(1)～(10)のことが考えられます。
それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

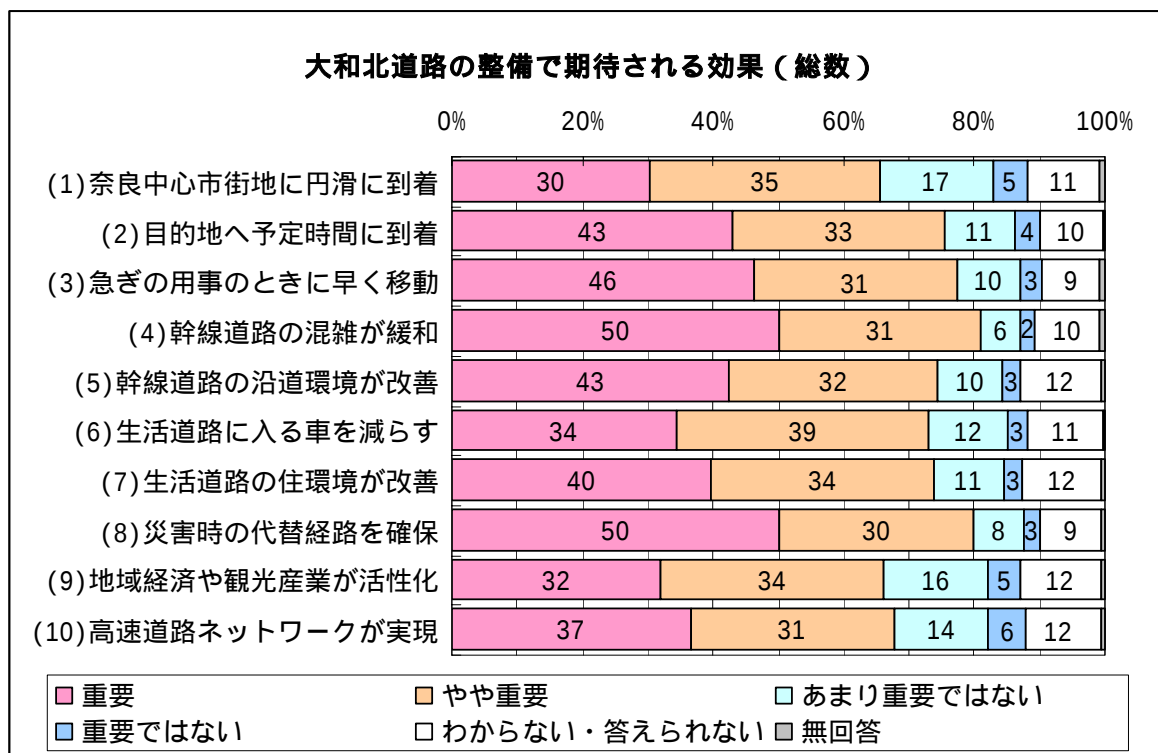
- (1) 奈良中心市街地に円滑に到着できる
- (2) 観光シーズンのようにクルマが多い時期でもスムーズに走れて、目的地へ予定時間につける
- (3) 急ぎの用事のときに早く移動できる
- (4) 国道 2 4 号など幹線道路の混雑が緩和される
- (5) 国道 2 4 号など幹線道路の交通事故が減少し、沿道環境が改善される
- (6) 幹線道路から生活道路に入ってくる車を減らす
- (7) 住宅地内の生活道路で交通事故が減少し、住環境が改善される
- (8) 大きな事故や災害などが起きたときでも代替経路が確保できる
- (9) 道路交通を円滑にして、奈良の地域経済や観光産業が活性化される
- (10) 近畿圏全域を結ぶ広域的な高速道路ネットワークが実現する

大和北道路が整備されることによって期待される効果としては、すべての項目について、回答者の 65 % 以上の人 が「重要」「やや重要」としており、事項別に見ると、(4)幹線道路の混雑が緩和 (81 %)、(8)災害時に代替経路が確保 (80 %)、(3)急ぎの用事のときに早く移動 (77 %) の順に高くなっています。

また、回答の割合の低いのは順に、(1)奈良中心市街地に円滑に到着 (65 %)、(9)地域経済や観光産業が活性化 (66 %)、(10)高速道路ネットワークが実現 (68 %) です。

さらに、居住地別の結果では、全エリアにおいて(4)幹線道路の混雑が緩和、(8)災害時に代替経路が確保のいずれかを「重要」「やや重要」と感じている割合が最も高くなっています。

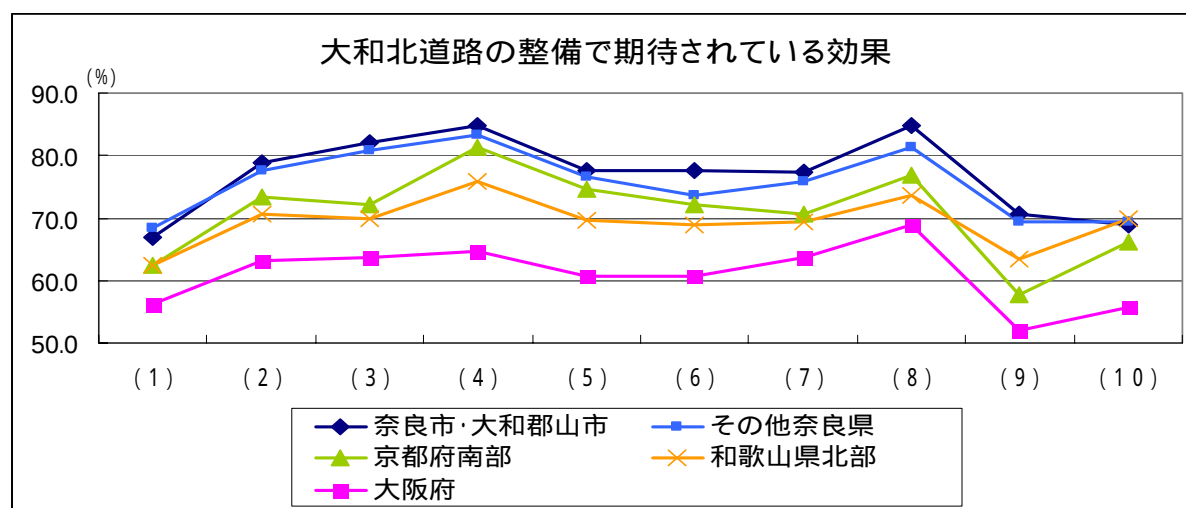
大阪府では、他のエリアに比べ、全ての項目において「重要」「やや重要」と感じている割合が最も低くなっています。



問3 - 1 大和北道路が整備されることにより期待される効果
 ～ 重要度（選択肢の「重要」「やや重要」が占める割合）によるランキング ～

期待される効果	奈良市・大和郡山市	その他奈良県	京都府南部	和歌山県北部	大阪府
(1) 奈良中心市街地に円滑に到着	66.9	68.4	62.4	62.5	56.3
(2) 目的地へ予定時間に到着	78.8	77.7	73.4	70.7	63.2
(3) 急ぎの用事のときに早く移動	82.1	80.7	72.0	70.0	63.7
(4) 幹線道路の混雑が緩和	84.7	83.4	81.4	75.8	64.7
(5) 幹線道路の沿道環境が改善	77.6	76.5	74.7	69.6	60.7
(6) 生活道路に入る車を減らす	77.5	73.6	72.2	68.9	60.6
(7) 生活道路の住環境が改善	77.3	75.8	70.5	69.4	63.7
(8) 災害時の代替経路を確保	84.8	81.2	76.8	73.7	69.0
(9) 地域経済や観光産業が活性化	70.5	69.4	57.7	63.4	52.0
(10) 高速道路ネットワークが実現	68.9	69.5	66.2	69.8	55.8

注）表内の ～ は順位を示しています。



【資料 - 7】配慮すべき事項に係るアンケートの結果

[出典] 第 12 回大和北道路有識者委員会 (平成 1 5 年 5 月 1 6 日開催)

(資料 - 3) アンケート一次集計結果の報告

問 3 - 2 . 大和北道路を検討する際に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。

次の(1)～(10)のそれぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

- (1) 平城宮跡をはじめとする歴史文化財への影響を避け、その環境を守る
- (2) 地下水への影響をできるだけ避け、木簡などの埋蔵文化財の保全に配慮する
- (3) 平城宮跡から若草山、東大寺の眺望や、若草山からの眺望など、歴史的景観に配慮する
- (4) 春日山原始林等の豊かな自然環境を保全する
- (5) 沿道地域に対する騒音・大気汚染などの環境対策を適切に行う
- (6) 住宅地及びその周辺の生活環境を保全する
- (7) 道路をつくるために移転しなければならない建物等をできるだけ少なくする
- (8) できるだけ安い費用で道路をつくる
- (9) インターチェンジを利用する交通の沿道への影響をできるだけ少なくする
- (1 0) 大和北道路の整備にあわせて、国道 2 4 号など道路網全体の交通の流れを適正化する諸方策を実施する

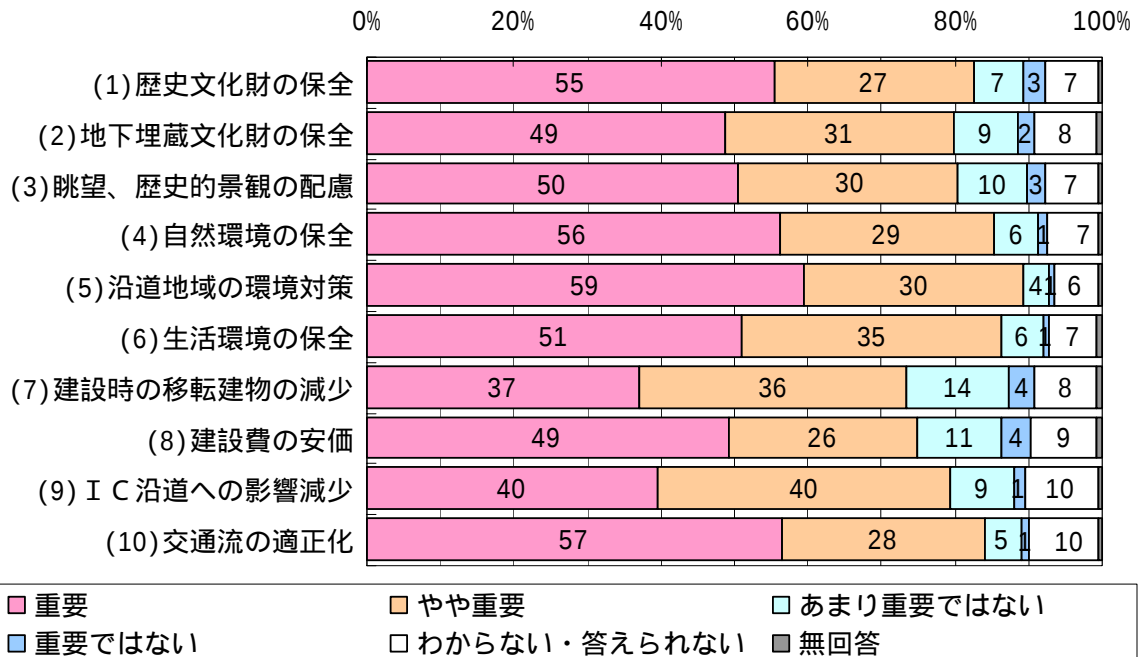
大和北道路の検討に際し、すべての項目について、回答者の 7 0 % 以上が配慮すべき事項として「重要」「やや重要」としており、事項別に見ると、(5)沿道地域の環境対策(8 9 %)、(6)生活環境の保全(8 6 %)、(4)自然環境の保全(8 5 %)、(10)交通流の適正化(8 5 %)の順で高くなっています。

また、回答の割合の低いのは順に、(7)建設時の移転建物の減少(7 3 %)、(8)建設費の安価(7 5 %)、(2)地下埋蔵文化財の保全(8 0 %)、(3)眺望、歴史的景観の配慮(8 0 %)、(9) I C 沿道への影響減少(8 0 %)です。

さらに、居住地別の結果でも、大阪府を除くエリアでは、(5)沿道地域の環境対策を「重要」「やや重要」と感じている人の割合が最も高く、特に奈良県内には、9 0 % を超えています。また、奈良市・大和郡山市では 9 0 % 以上の人が(6)生活環境の保全を「重要」「やや重要」と感じています。

なお、大阪府では(4)自然環境の保全を「重要」「やや重要」と感じている人の割合が最も高くなっています。

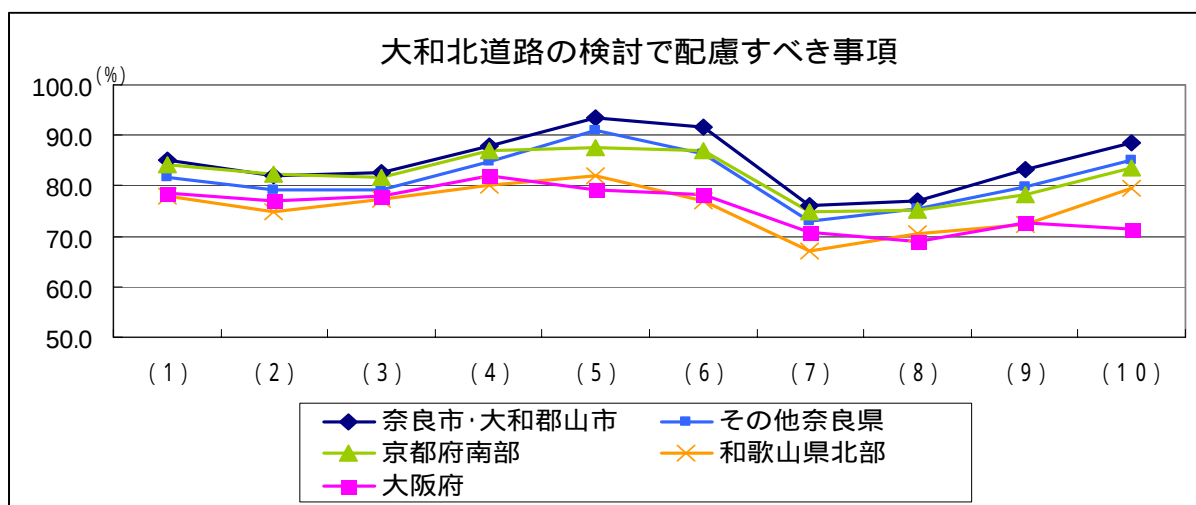
大和北道路の検討で配慮すべき事項（総数）



問3-2 大和北道路を検討する際に配慮すべきこと ～ 重要度（選択肢の「重要」「やや重要」が占める割合）によるランキング ～

配慮すべきこと	奈良市・大和郡山市	その他奈良県	京都府南部	和歌山県北部	大阪府
(1) 歴史文化財の保全	85.1	81.8	84.3	78.0	78.7
(2) 地下埋蔵文化財の保全	81.9	79.1	82.3	74.9	77.1
(3) 眺望、歴史的景観の配慮	82.6	79.2	81.7	77.3	77.9
(4) 自然環境の保全	87.8	84.7	87.0	80.1	81.9
(5) 沿道地域の環境対策	93.4	91.0	87.5	81.9	79.2
(6) 生活環境の保全	91.5	86.2	87.1	76.9	78.4
(7) 建設時の移転建物の減少	76.2	73.0	75.0	67.1	70.8
(8) 建設費の安価	77.1	75.5	75.1	70.5	69.0
(9) I C 沿道への影響減少	83.3	79.7	78.3	72.5	72.8
(10) 交通流の適正化	88.4	85.2	83.4	79.6	71.5

注) 表内の ～ は順位を示しています。



(3) 道路交通状況や道路整備に係る自由意見の結果

【資料 - 8】市民意見のとりまとめについて

[出典] 第 14 回大和北道路有識者委員会 (平成 1 5 年 7 月 1 8 日開催)
(資料 - 2) 市民意見のとりまとめについて

市民意見等のとりまとめについて

(寄せられた意見の分析)

■ 無作為抽出アンケート (無作為抽出した人に訪問配布したアンケート) の実施概要

- 奈良市・大和郡山市を中心とした奈良県、京都府・和歌山県の京奈和自動車道沿線市町及び大阪府にお住まいの方に訪問配布したアンケート
 - ・ 配布数 5 , 4 0 0
 - ・ 有効回収数 4 , 0 7 0 (回収率約 7 5 %)
 - ・ 実施期間 : 平成 1 5 年 3 月 8 日 ~ 4 月 1 6 日

■ 無作為抽出アンケート以外の実施概要

- 2/16 大和北道路シンポジウムで配布したアンケート
 - ・ 配布数 (約 3 5 0) 名
 - ・ 回収数 1 9 2 名 (5 月 3 1 日時点)
- P I プロセスキャンペーンで配布したアンケート
(3/7 大和郡山城ホール、3/8 奈良市西部会館、3/10 なら 100 年会館)
 - ・ 配布数 (約 1 6 0) 名
 - ・ 回収数 7 3 名 (5 月 3 1 日時点)
- P I プロセスキャンペーンでの参加者からの発言
(3/7 大和郡山城ホール、3/8 奈良市西部会館、3/10 なら 100 年会館)
 - ・ 参加者数 1 5 8 名
 - ・ 意見発言者 延べ 2 9 名
- はがき、封書等による意見について
 - ・ 5 3 2 通 (5 月 3 1 日時点)
- メール、F A X、電話等による意見について
 - ・ 4 2 件 (平成 1 4 年 9 月 ~ 平成 1 5 年 5 月 3 1 日時点)

これらに寄せられた意見 (自由意見) について、分析を行った。

【資料 - 9】無作為抽出アンケート / 自由意見の分析結果

[出典] 第 14 回大和北道路有識者委員会 (平成 15 年 7 月 18 日開催)

(資料 - 2 - 1 - 1) 無作為抽出アンケート / 自由意見の分析結果

無作為抽出アンケート / 自由意見の分析結果

1 . 自由意見の整理手順

- 無作為抽出アンケートに自由意見を記入いただいた人は 4 0 7 0 人中 1 9 5 7 人であった。複数の内容の意見を記入された方もおり、1 つ 1 つの意見に分割したところ、意見の総数は 6 8 3 7 件となりました。
- さらに、寄せられた意見の傾向を整理するため、6 8 3 7 件の意見をアンケートの設問項目で分類し、さらに意見の文意を表す「趣旨」により類似意見を取りまとめました。

2 . 意見分析の方法

- 今回の分析では「大和北道路の整備はどうあるべきか、整備する場合はどのような事項に配慮すべきか」を明らかにしたいため、類似意見をまとめた「趣旨」を、表 - 1 に示す枠組みに基づき分類しました。

3 . 分析の結果

- 道路整備に対し肯定的な意見が 5 2 9 2 件と全体の 7 7 % 占め、うち大和北道路の整備に対し肯定的な意見は 2 0 4 4 件と 3 0 % を占めている。
- 一方、大和北道路など道路整備に対し否定的な意見は 5 0 7 件と全体の 7 % を占めている。

【意見総数：6837件】

○道路整備に対し肯定的な意見数	: 5 2 9 2 件 (7 7 %)
・大和北道路の整備に対し肯定的な意見数	: 2 0 4 4 件 (3 0 %)
・道路整備全般に対し肯定的な意見数	: 1 6 6 4 件 (2 4 %)
・渋滞に対して不満等の意見数	: 1 5 8 4 件 (2 3 %)
○道路整備に対し否定的な意見数	: 5 0 7 件 (7 %)
・大和北道路の整備を否定する意見数	: 3 4 5 件 (5 %)
・「採算性に疑問、渋滞はそれほどない」 など否定的な意見数	: 1 6 2 件 (2 %)
○その他の意見数	: 1 0 3 8 件 (1 5 %)
・交通行政、PI プロセスなどに関する意見	

大和北道路の整備に対し肯定的な意見には、「大和北道路の整備に際しては、文化財保全に配慮すべき」などの条件付きの肯定的意見数 1 2 1 3 件を含む。
割合(%)は小数以下を四捨五入により 100% とはならない。

- 大和北道路の整備に対し肯定的な意見には、「幹線道路の混雑緩和」、「地域の活性化」、「広域移動の利便性」の効果を発揮する道路として整備することが望ましい等の意見がありました。

表 - 1 無作為抽出アンケート / 分類の考え方

分類		分類の考え方
肯定		大和北道路の整備の推進を支持する意見
条件付肯定		配慮事項等を挙げた上で大和北道路の整備の推進を支持する意見
肯定的 認識	道路整備等	道路整備等の必要性を認識している意見
	渋滞に関する不満等	渋滞状況を認識している意見
否定的認識（コスト等）		採算性、財源等を大和北道路の整備の課題としてあげている意見
否定		文化財保全等を理由に大和北道路の整備を否定する意見
参考 意見	PIプロセス関係	大和北道路のPIプロセスに関する意見
	交通行政	交通行政に係る問題提起・提案をしている意見
不明		「交通状況がわからない」等の認識を表明している意見

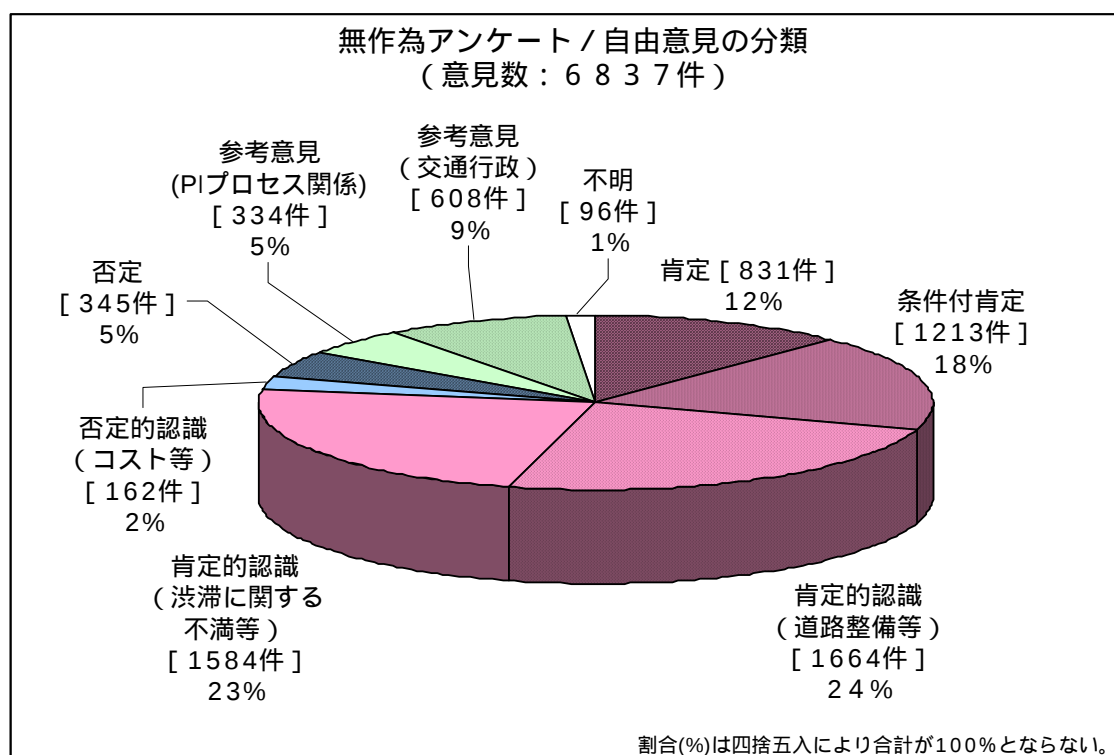


図 - 1 無作為抽出アンケート / 自由意見の分類結果

【資料 - 10】無作為抽出アンケート以外 / 自由意見の分析結果

[出典] 第 14 回大和北道路有識者委員会 (平成 15 年 7 月 18 日開催)

(資料 - 2 - 1 - 2) 無作為抽出アンケート以外 / 自由意見の分析結果

無作為抽出アンケート以外 / 自由意見の分析結果

1 . 自由意見の整理手順

- 無作為抽出アンケート以外 (シンポジウム、キャンペーン、パンフ付属ハガキでいただいた意見、ハガキ・封書・メール・電話で寄せられた意見等) に記入いただいた自由意見につき、複数の内容の意見を記入された自由意見を 1 つ 1 つの意見に分割したところ、意見総数は 2 4 4 5 件となりました。
- さらに、寄せられた意見の傾向を整理するため、2 4 4 5 件の意見をアンケートの設問項目で分類し、さらに意見の文意を表す「趣旨」により類似意見を取りまとめました。

2 . 意見分析の方法

- 今回の分析では「大和北道路の整備はどうあるべきか、整備する場合はどのような事項に配慮すべきか」を明らかにしたいため、類似意見をまとめた「趣旨」を、表 - 1 に示す枠組みに基づき分類しました。

3 . 分析の結果

- 道路整備に対し肯定的な意見は 1 3 5 6 件と全体の 5 5 % を占め、うち大和北道路の整備に対し肯定的な意見は 7 3 9 件と全体の 3 0 % を占めている。
- 一方、大和北道路など道路整備に対し否定的な意見は 4 5 4 件と全体の 1 9 % を占めている。

【意見総数：2 4 4 5 件】

○ 道路整備に対し肯定的な意見数	: 1 3 5 6 件 (5 5 %)
・ 大和北道路の整備に対し肯定的な意見数	: 7 3 9 件 (3 0 %)
・ 道路整備全般に対し肯定的な意見数	: 4 0 9 件 (1 7 %)
・ 渋滞に対して不満等の意見数	: 2 0 8 件 (8 %)
○ 道路整備に対し否定的な意見数	: 4 5 4 件 (1 9 %)
・ 大和北道路の整備を否定する意見数	: 4 3 8 件 (1 8 %)
・ 「採算性に疑問、渋滞はそれほどない」 など否定的な意見数	: 1 6 件 (1 %)
○ その他の意見数	: 6 3 5 件 (2 6 %)
・ 交通行政、PI プロセスなどに関する意見	

大和北道路の整備に対し肯定的な意見には、「大和北道路の整備に際しては、遺産との共存を配慮すべき」などの条件付きの肯定的意見数 4 7 0 件を含む。

- 大和北道路の整備に対し肯定的な意見には、「地域の活性化」及び「幹線道路の渋滞緩和」等の効果を発揮する道路整備を期待するとともに「早期の整備」を期待し、又、「国道・県道などの幹線道路の整備も進めてほしい」等の意見がありました。
- 大和北道路の整備に対し、否定的な意見は全体の約 2 割となっており、特に「平城宮跡や歴史文化財の保全を優先すべき」とする意見が 2 8 6 件と全体の 1 2 % を占めています。

- なお、「世界遺産・平城宮跡とその周辺には、高速自動車道大和北道路を通さないと明言して下さい。」及び「歴史の宝庫・平城京（跡）全域にも高速道路を通さないで下さい。」と2項目を印刷し統一した様式で送られてきたハガキが251通ありました。これらのハガキの自由記入欄に書かれた計298件の意見について上述と同様に分類しました。

表 - 1 無作為抽出アンケート以外 / 分類の考え方

分類		分類の考え方
肯定		大和北道路の整備の推進を支持する意見
条件付肯定		配慮事項等を挙げた上で大和北道路の整備の推進を支持する意見
肯定的認識	道路整備等	道路整備等の必要性を認識している意見
	渋滞に関する不満等	渋滞状況を認識している意見
否定的認識（コスト等）		採算性、財源等を大和北道路の整備の課題としてあげている意見
否定		文化財保全等を理由に大和北道路の整備を否定する意見
参考意見	交通行政	交通行政に係る問題提起・提案をしている意見
	PIプロセス関係	大和北道路のPIプロセスに関する意見
不明		「交通状況がわからない」等の認識を表明している意見

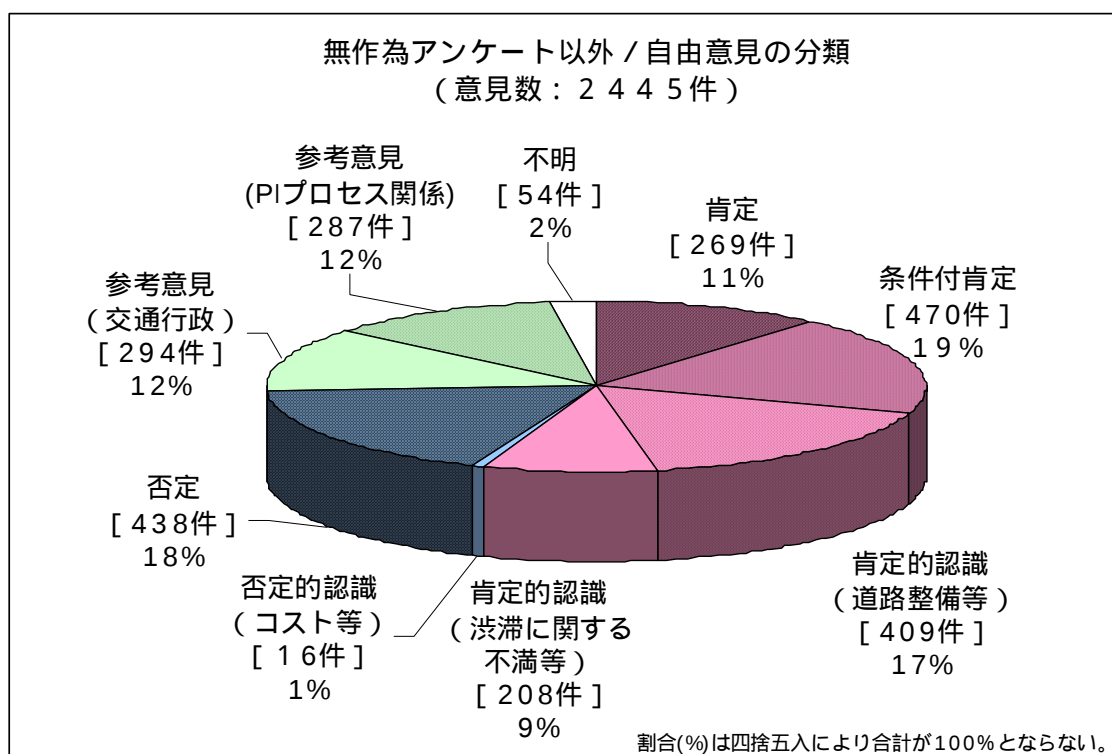


図 - 1 無作為抽出アンケート以外 / 自由意見の分類結果

【資料 - 11】無作為抽出アンケート / 自由意見の整理結果

[出典] 第 14 回大和北道路有識者委員会 (平成 15 年 7 月 18 日開催)

(資料 - 2 - 2 - 1) 無作為抽出アンケート / 自由意見の整理結果

無作為抽出アンケート / 自由意見の整理結果

・ 整理結果の概要

無作為抽出アンケートの自由意見にご記入いただいた意見 (6837 件) をアンケート設問に則った分類に従うと、以下のとおりに分類できた。

全体的には、「 1 . 奈良県北部地域における道路交通状況 」に関する意見が最も多く、2299 件、全体の 34 % であった。これに続き、「 3 . 奈良県北部地域の道路整備の対象 」に関する意見が 1434 件 (21 %) 、 「 5 . 大和北道路の検討において配慮すべき事項 」に関する意見が 1376 件 (20 %) であった。

5 . 大和北道路の検討において配慮すべき事項	1376 件
(1) 平城宮跡等、歴史文化財への影響の回避に関する意見	401 件
(2) 地下水への影響回避、埋蔵文化財等の保全に関する意見	32 件
(3) 歴史的景観への配慮に関する意見	115 件
(4) 春日山原始林等の豊かな自然環境の保全に関する意見	122 件
(5) 沿道地域の環境対策に関する意見	66 件
(6) 住宅地等における生活環境の保全に関する意見	69 件
(7) 道路建設に伴う移転建物数の抑制に関する意見	4 件
(8) 経済性 (安いコストでの建設) に関する意見	136 件
(9) IC を利用する車の沿道への影響の抑制に関する意見	12 件
(10) 道路網全体の交通流の適正化に係る諸方策実施に関する意見	35 件
(11) 環境対策の最重視、料金設定等の上記以外の意見	384 件

(1) 平城宮跡等、歴史文化財への影響の回避に関する意見【 401 件】

○ 歴史文化財への影響回避は重要であるという意見 [338 件]

大和北道路の整備に際しては文化財保全を配慮すべき (137 件)

大和北道路の整備に際しては遺産との共存を配慮すべき (135 件)

平城宮跡の保全を優先すべき (17 件)

○ 歴史文化財への影響回避は重要ではないという意見 [59 件]

大和北道路の整備を優先すべきである (59 件)

【資料 - 12】無作為抽出アンケート以外 / 自由意見の整理結果

[出典] 第 14 回大和北道路有識者委員会 (平成 15 年 7 月 18 日開催)

(資料 - 2 - 2 - 2) 無作為抽出アンケート以外 / 自由意見の整理結果

無作為抽出アンケート以外 / 自由意見の整理結果

・ 整理結果の概要

無作為抽出以外アンケートの自由意見にご記入いただいた意見 (2445 件) をアンケート設問に則った分類に従うと、以下のとおり分類できた。

全体的には、「 5 . 大和北道路の検討において配慮すべき事項」に関する意見が最も多く、788 件、全体の 32 % であった。これに続き、「 3 . 奈良県北部地域の道路整備の対象」に関する意見が 439 件 (18 %)、「 1 . 奈良県北部地域における道路交通状況」に関する意見が 395 件 (16 %) であった。

5 . 大和北道路の検討において配慮すべき事項	788 件
(1) 平城宮跡等、歴史文化財への影響の回避に関する意見	362 件
(2) 地下水への影響回避、埋蔵文化財等の保全に関する意見	102 件
(3) 歴史的景観への配慮に関する意見	58 件
(4) 春日山原始林等の豊かな自然環境の保全に関する意見	20 件
(5) 沿道地域の環境対策に関する意見	34 件
(6) 住宅地等における生活環境の保全に関する意見	19 件
(7) 道路建設に伴う移転建物数の抑制に関する意見	20 件
(8) 経済性 (安いコストでの建設) に関する意見	36 件
(9) I C を利用する車の沿道への影響の抑制に関する意見	3 件
(10) 道路網全体の交通流の適正化に係る諸方策実施に関する意見	10 件
(11) 環境対策の最重視、料金設定等の上記以外の意見	124 件

(1) 平城宮跡等、歴史文化財への影響の回避に関する意見【 362 件】

○ 歴史文化財への影響回避は重要であるという意見【 342 件】

大和北道路の整備に際しては文化財保全を優先すべき (286 件)

大和北道路の整備に際しては遺産との共存を配慮すべき (55 件)

○ 歴史文化財への影響回避は重要ではないという意見【 14 件】

大和北道路の整備を優先すべきである (14 件)

4. ヒアリング

■ヒアリングの実施要領

【資料 - 13】ヒアリングの実施要領

[出典] 第 6 回大和北道路有識者委員会 (平成 1 5 年 2 月 2 8 日開催)

(資料 - 3) ヒアリングの実施について

- 目 的
有識者委員会が、提言を取りまとめるため、意見を聞いておく必要があると考える内容について意見等を把握する
- 実施方針
【実施主体】 大和北道路有識者委員会
【実施方法】 公開
【ヒアリングの進め方】
○ 有識者委員会より、事前にヒアリング項目を対象者に依頼
- 実施時期
3 月から 8 月 (適宜)

■ヒアリングをお願いした識者等 (1 2 名)

【資料 - 14】ヒアリングをお願いした識者等

日程	分野	団体・組織等	出席者
第 7 回 (3/16)	運輸交通	奈良県トラック協会	元会長 西川 均氏
		奈良県タクシー協会	会長 池田誠也氏
第 8 回 (3/28)	観光	奈良市観光協会	会長 松岡泰夫氏
		奈良県立大学地域創造学部	助教授 新納克廣氏
第10回 (4/25)	地質	奈良教育大学	名誉教授 西田史朗氏
	文化財(世界遺産関係)	京都府立大学人間環境学部	助教授 宗田好史氏
	文化財保護団体	高速道路から世界遺産・平城京を守る会	代表委員 井上 寛氏
第12回 (5/16)	経済界	奈良県商工会議所連合会	会長 阪本道隆氏
	運輸交通	奈良県バス協会	会長 國友正道氏
		(社)日本自動車連盟(JAF)奈良支部	支部長 菊池 攻氏
第13回 (5/30)	寺院	薬師寺	執事長 山田法胤氏
	土木技術	(社)日本トンネル技術協会	会員 三浦政美氏

■ヒアリングの要旨

【資料 - 15】ヒアリングの要旨

西川均氏【(社)奈良県トラック協会 元会長】

工業団地の開発発展や奈良県南北の経済的不均衡是正のためにも、早急な南北幹線の建設が必要である。大和北道路だけでなく、これと併せて東西幹線道路を整備し、かつ既設の道路を利用することによって、広域的な環状線が整備されることを提案する。これにより利便性の一層の向上と、観光の活性化が図れると考えている。

池田誠也氏【奈良県タクシー協会 会長】

南北の幹線道路が渋滞し、生活道路が連鎖的に混雑する現状は、迅速な輸送を行うことがきわめて困難となってきたことからタクシーの信頼性を大きく損ない利用者の「早くて安全で確実に着く、」という期待に応じられない状況にあり、道路整備はタクシーの走行環境の改善に限らず、観光資源を活用した経済活性化に欠かせないものである。

奈良県内の通過交通においては大和北道路が最短距離で結ばれ、県内の幹線道路と機能的な結節点であることが計画道路の効果を生かす最重点課題だと思われる。

松岡泰夫氏【(社)奈良市観光協会 会長】

奈良の観光のイメージとしては、アクセス時間のよみにくいという点が、全国的に植え付けられてしまっている気がする。車の定時性を確保することにより、できれば高速道路が奈良の中央を走れば奈良の活性化につながるし、「点」の観光から「面」の観光への広がりに期待が持てる。文化財に意識しすぎることより、活性化された奈良県民の生活基盤を重視すべきである。是非とも早期に大和北道路を着工してもらいたい。

新納克廣氏【奈良県立大学地域創造学部 助教授】

大和北道路の完成によって観光ルートの選択肢は増え、特に奈良県中南部では効果が期待できるが、奈良市内の観光活性化への効果には疑問がある。大和北道路を造ることで、自動車交通需要を高め、観光シーズンの奈良市内の道路混雑をより激しくする可能性がある。快適な観光を実現するためには、自動車交通需要を適切な水準以下に抑える交通対策が必要である。奈良では鉄道をもっと活用すべきであり、大和北道路を造るならば、鉄道との結節点にパークアンドライド施設を設置して、鉄道への乗換を促すのが望ましい。

西田史朗氏【奈良教育大学 名誉教授】

都市機能、利便性、騒音・排気・景観対策の上から、「中央エリア 案」改良案を提案したい。揚水を行うことは、木簡埋蔵層準の水位変化をもたらし、遺物に影響を与え、今以上に平城宮跡の水環境の整備保全を推進していく必要がある。しかし、トンネル内外から地上への排水を一切なくした構造と施工法を採用すれば、地下水位は維持できる。さらにそのトンネルは必ずしも大深度である必要はない。つまり木簡埋蔵層準の数m下をシールド工法によって完全無排水で構築することで、地質的な問題を最大限回避でき、様々な面でむしろメリットが生まれる。

宗田好史氏【京都府立大学人間環境学部 助教授】

今回の検討作業は、多様な関係者にヒアリングを行いこの議論により、文化遺産保護と社会資本整備の共存に関する知見が発達すると考えている。奈良では、世界的にも先駆的なパークアンドライドをはじめ、観光行動と遺産保護・保存の必要性を調和させる取り組みがすでにあり、この課題に対する優れた回答が得られることを期待している。地元の人々による今回のルート選定に関し、ユネスコならびにイコモスが、必要以上に干渉することは適切ではない。また「危機にある世界遺産リスト」は、今回の問題とは直接的な関わりがない。しかし、過度な観光振興による文化遺産への損害は許されない。

井上寛氏【高速道路から世界遺産・平城京を守る会 代表委員・ジャーナリスト】

世界遺産都市・奈良に高速道路を通そうとすること自体、そもそも世界的大問題。許されない。世界遺産条約（第11条）は、公共事業などで世界遺産を破壊することを厳しく禁じている。地下文化財、遺構と地下水の影響について、地下水検討委員会は、“軽微”と結論づけたが、別の専門家は“重大な疑念”を指摘しており“疑わしきは通過させず”こそ、唯一の選択の道である。21世紀の奈良のまちづくりは、世界遺産都市（歴史公園都市）にすることである。古都奈良は、その先進的役割を果たすべきである。仮に大和北道路を通したとしても“打出の小槌”とはなりえない。渋滞激化など問題は山ほどある。

阪本道隆氏【奈良県商工会議所連合会 会長】

奈良における道路交通問題の様々な課題を解決するためにも、京奈和自動車道の整備は不可欠である。京奈和自動車道の完成により、移動時間の短縮、関西一円のネットワークが実現され、観光業界へのメリットも十分予測でき、広域周遊型観光が可能となる。緊急医療についても、より迅速に、より広域に対応することができると考えている。他にも企業誘致、福祉、教育といった分野でも十分メリットが期待できるが、これらに寄与する道路整備も同時に必要となり、保存と開発を明確に区別するような規制緩和も一つの要件である。

國友正道氏【（社）奈良県バス協会 会長】

深刻な交通渋滞による観光交通や生活交通に与える悪影響を解決するためには、大和北道路の整備は必要不可欠である。しかし、大和北道路が整備されることによる、奈良市内への流入量増加に対する対策も同様に重要である。IC周辺で、公共交通に乗り換えるためのパークアンドライドの施設整備が必要となってくるのではないかと。また、特定観光地への日帰り旅行中心の観光から、県内各地を巡り、宿泊を伴う面的な観光への転換を促進するための取り組みが必要である。

菊池攻氏【（社）日本自動車連盟（JAF）奈良支部 支部長】

渋滞回避のため自動車が生活道路へ流入する傾向があり、交通事故が多発している。さらに道幅の狭さによる脱輪事故も多発しており、奈良県における事故の特徴である。また、渋滞により計画していた観光施設を巡ることができない旅行者も多い。京奈和自動車道は近畿圏の外郭環状道路機能を有することから、近畿主要都市をはじめ様々な地域との交流を促進し、奈良県の地域経済、観光産業の活性化に大きく寄与すると考えられ、早期整備が望まれる。さらに、大和北道路に付帯する駐車施設を設け、奈良市中心部への車両流入を減少させる手段が、国際観光都市・奈良の地域特性から有効と考える。

山田法胤氏【薬師寺 執事長】

大和北道路の検討ルートに限らず、あらゆる開発には一利一害が伴う。高架化も景観の問題はあっても、時間の経過とともに風景に馴染むことも考えられよう。つまり100%完璧なことは仏教の教え同様、この世には存在しないわけであり、賛成も反対もあるからといって、何もしないということは最も愚かなことである。今回の計画についても、勇敢な心と英断をもって、奈良の活性化を主眼とした何らかの方向性を示してもらいたい。

三浦政美氏【（社）日本トンネル技術協会 会員】

約30年にわたるシールド工法の経験で、地下水位が下がったということはない。例えば開削工法やシールド工法で、流通管と呼ばれる導水管を設置すれば、問題視される地下水脈への影響は十分に回避できる。さらに、シールド工法は極めて優れた耐震性を有している。また、重視すべきはトンネルの直径と深さであり、仮にトンネルの直径が15mとした場合、地盤沈下や騒音、埋蔵文化財等の問題を考えると、地下25m付近で建設するのが理想的であるし、また技術的にも可能で難易度も決して高くない。

■委員からの報告（２名）

【資料 - 16】委員からの報告

日程	分野	委員名
第 7 回委員会(3/16)	文化財（世界遺産関係）	坪井清足 委員
第10回委員会(4/25)	景観（古都風致関係）	近藤公夫 委員

【坪井委員 / 意見要旨】

[出典] 第 7 回大和北道路有識者委員会（平成 1 5 年 3 月 1 6 日開催）
（資料 - 5 ）坪井委員意見要旨

平城宮跡保存の経緯

坪井 清足

- 1 . 明治時代からの保存運動
- 2 . 1 9 2 4 平城宮跡史跡指定（史蹟名勝天然記念物保存法）
- 3 . 1 9 3 4 同 追加指定
- 4 . 1 9 3 2 文化財保護法による特別史跡指定
- 5 . 1 9 5 4 現一条通り開設に伴う指定地の発掘調査
- 6 . 1 9 5 9 平城宮跡全面発掘調査開始
- 7 . 1 9 6 2 平城宮跡西 1 / 3 未指定地の近鉄操車場建設問題に対し
保存運動はじまる - 平城宮跡全域国費買上決定
- 8 . 1 9 6 6 古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法策定
1 9 6 7 同法施行令により特別地区指定
1 9 8 2 同地区拡大
- 9 . 1 9 6 8 国道 2 4 号迂回決定
- 1 0 . 1 9 7 2 世界遺産条約成立
- 1 1 . 1 9 9 2 日本国の条約批准
- 1 2 . 1 9 9 8 奈良地区世界遺産に登録

尚 1 9 7 1 「奈良市景観整備に関する調査研究」の提言をふまえて、
1 9 8 0 市街地環境の維持と景観の保全を目的に高度地区の指定を行
い、1 9 8 7 に建築物の高さ制限の基準決定
1 9 7 8 「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想」策定 文化庁

【近藤委員 / 意見要旨】

[出典] 第 10 回大和北道路有識者委員会 (平成 1 5 年 4 月 2 5 日開催)
(資料 - 3 - 4) 近藤委員意見要旨

景 観 と 植 生

近 藤 公 夫

平 城 宮 大 極 殿 跡 からの 眺 望

春 日 山 の ス カ イ ラ イ ン

大 仏 殿 へ の ヴ ィ ス タ

復 元 朱 雀 門 周 辺 からの 眺 望

奈 良 山 丘 陵 と 復 元 大 極 殿 など

奈 良 市 街 や 復 元 朱 雀 大 路 など

平 城 京 当 時 の 植 生

弥 生 時 代 の 農 業 に よ る 原 植 生 へ の 影 響

古 墳 時 代 以 降 の 人 口 集 中 と 森 林 資 源

平 城 宮 周 辺 の 修 景 と 緑 化

大 和 北 道 路 付 属 施 設 の 景 観 問 題 など

道 路 の 修 景 緑 化 に つ い て

■地元自治体による意見表明（３名）

【資料 - 17】意見表明

[出典] 第 15 回大和北道路有識者委員会（平成 1 5 年 8 月 5 日開催）
（資料 - 3 - 1 ～ 3 ）意見表明

日程	自治体名	出席者
第15回委員会(8/5)	奈良市	市長 大川靖則氏
	大和郡山市	市長 上田 清氏
	奈良県	副知事 増井 勲氏

【意見表明 / 奈良県・増井副知事】

京奈和自動車道大和北道路は、県内の道路整備状況や慢性的な渋滞の改善、なら・半日交通圏道路網構想の実現という観点から、早期完成が必要不可欠な道路です。大和北道路のルートについては、国道 2 4 号を挟んで広がる市街地からの交通を効率的に処理する為、国道 2 4 号に近く、最短ルートで混雑緩和等の改善効果が大きいとされる中央エリア とし、アクセス性に優れ、既存の土地利用に適合した構造のインターチェンジの設置を要望します。構造については、地下構造も併用し、国道 2 4 号の空間を極力利用することで、文化財や景観等への影響を極力抑えることができると考えられます。

【意見表明 / 奈良市・大川市長】

国際文化観光都市 / 奈良市において自動車時代に即した観光振興を図るためには、大和北道路の一刻も早い実現を願うところです。そのルートは、既に決定されている区間を最短で結ぶことを基本としつつ、地域特性や土地利用の状況を考慮する必要があると思っております。また、構造面では、高架構造とすると歴史的、自然的景観に及ぼす影響が大きいため、地下水に影響を与えない万全な工法により、必要最小限度でトンネル工法を採用していただきたく思っており、中央エリア がやむを得ないものと思っております。大和北道路が「平成の朱雀大路」として後世にも評価される事業になることを願う次第です。

【意見表明 / 大和郡山市・上田市長】

市総合計画の実現、昭和工業団地への物流の改善、悪化する市内交通状況の改善という観点より、大和北道路は是非とも必要な道路です。そのルートは国道 24 号に近い位置で計画することにより、24 号の混雑緩和とともに、生活道路の混雑緩和や騒音減少などの効果も得られ、また、建設時に生じる影響は現道の利用により最小限に押さえられるものと考えるところより、中央エリア を要望します。また、本市は大和北道路の整備により、県内で唯一広域的な幹線道路が交差する都市となり、その立地を生かすためにも、昭和工業団地からのアクセス性を考慮したフルインターチェンジの設置を強く要望する次第です。

5 . 公聴会

■ 公聴会の開催趣旨等

【資料 - 18】公聴会の実施について

[出典] 第 10 回大和北道路有識者委員会（平成 1 5 年 4 月 2 5 日開催）
（資料 - 4 ）公聴会の実施について

公聴会の実施について

■ 目 的

有識者委員会が、提言を取りまとめるため、市民等の発言の場を設け、公開の場で幅広く市民等の意見の把握を行う

■ 実施方針

【実 施 日】 平成 1 5 年 5 月 1 0 日（土） 1 0 : 0 0 ~

【実施主体】 大和北道路有識者委員会

【実施場所】 奈良市春日野町 1 0 1 奈良県新公会堂

【実施方法】

- 公述希望者は、1 4 名（公募期間 4 月 1 ~ 1 7 日、別紙のとおり）
希望者が 2 0 名以下であり、1 4 名全員に公述を依頼する
- 公述時間は、1 人あたり約 1 0 分
- 公聴会での配布資料
 - ・ 実施プログラム（公述人氏名等、意見タイトル、発言時間など）
 - ・ 公述意見要旨 他
- 公聴会は公開とし、会場に傍聴席（約 3 0 席）を設置（当日先着順）
傍聴希望者多数の場合は、別室でモニターによる傍聴が可能

【公聴会意見の公表について】

- 公述意見要旨をホームページに掲載
- 発言の要点は、とりまとめて分類・整理し、委員会に報告

■実施プログラム

【資料 - 19】公聴会の実施プログラム

[出典] 第 11 回大和北道路有識者委員会 (平成 15 年 5 月 10 日開催)
(資料 - 1) 公聴会実施プログラム

公聴会実施プログラム

■午前の部 (10 : 00 ~ 12 : 00)

	意見タイトル	公述人氏名	住所
1	住民にとって効率的で安全な道路網整備	たかしま まさひろ 高嶋 雅裕	京都府 相楽郡加茂町
2	京奈和自動車道大和北道路の計画を早期に決定して下さい	まつもと としひろ 松本 敏裕	奈良県 磯城郡田原本町
3	公害のない道づくりを	にしむら ただお 西村 忠雄	奈良県 奈良市
4	世界遺産エリアでの高速道通過ではなく 世界遺産都市奈良にふさわしい交通・道路計画を求める	はまだ ひろお 浜田 博生	奈良県 奈良市
5	二四号バイパスの東側に設置。	かわもと まさのぶ 川本 正信	奈良県 大和郡山市
6	平城宮址の地下を通過するルートについての一検討案	しまだ ひとし 島田 仁	奈良県 奈良市
7	かけがえのない古都奈良の歴史遺産を壊さないで！	きとう じゅんこ 鬼頭 順子	奈良県 奈良市
8	大和北道路は市街地 (奈良市) を通すべきではない。	こい しゅういち 小井 修一	奈良県 奈良市

発言時間は 1 人 10 分

■午後の部 (13 : 00 ~ 14 : 30)

	意見タイトル	公述人氏名	住所
9	計画当初から合理的なルートを	いそ みつお 磯 三男	奈良県 大和郡山市
10	最小の費用、最大の効果を大和北道路に期待します	千葉県千葉市にお住まいの方	
11	京奈和自動車無くして、奈良県の発展無し	おくだ やすひさ 奥田 裕久	奈良県 大和郡山市
12	大和北道路完成までの渋滞緩和策	ほりうち しげと 堀内 重人	滋賀県 大津市
13	歴史の証人「木簡」を守ってください！	たての かずみ 館野 和己	奈良県 奈良市
14	現行 4 ルート案を白紙に戻し、第 5 ルート案を提案	みずぐち のぶよし 水口 信義	奈良県 生駒市

発言時間は 1 人 10 分

■口述人の発言趣旨

「住民にとって効率的で安全な道路網整備」……高嶋雅裕氏

国道24号を中心とした慢性的な交通渋滞で、最も憂慮する影響は緊急輸送の問題である。交通渋滞による医療処置の遅れは、人命に関わる問題であり、自分も実際に経験しただけに、背筋が凍る思いである。この問題を解決するためにも、交通渋滞が改善され、市民が円滑に移動できる幹線道路ネットワークの整備が必要だ。これにより生活道路への流入が減り、住民にとって安全で安心した交通・医療が享受されるはずである。

「京奈和自動車道大和北道路の計画を早期に決定して下さい」……松本敏裕氏

年々増加する交通量で、慢性的な渋滞や事故の増加、排気・騒音の被害は甚大で、特に渋滞箇所付近の住民への被害は悲惨である。時間が大切な現代社会において、道路事情の悪さを使った言い訳は、もはや遅延理由にはならない。京奈和自動車道はこれらの問題を解消するものと期待している。もちろん文化財の保全や景観への配慮は当然必要であるが、それ以上に我々にとって京奈和自動車道の必要性は高い。計画を早期に決定し、必ず完成してほしいと願うばかりである。

「公害のない道づくりを」……西村忠雄氏

道路建設には住民の生活を配慮することが基本で、なおかつ自然と都市との調和が特徴の奈良では自然を破壊する行為は許されない。21世紀は物より心の時代で、生活のスタイルを変えてはどうか。交通体系については、公共交通機関を含めた総合的なものであるべきで、高速道路を計画する場合は一般道路との整合性を持たせた計画にすべきだ。大和北道路は日常的には公害道路の性格をおびるもので、高速道路を実施しない場合の対策をもっと緻密に検討して欲しい。車の増加・渋滞・公害拡大・解消と称しての道路建設。車の増加渋滞・公害深刻化というイタチゴッコになる恐れがある。車規制という対応も必要ではないか。

「世界遺産エリアでの高速道通過ではなく世界遺産都市奈良にふさわしい

交通・道路計画を求める」……浜田博生氏

大和北道路の計画は、はじめに高速道路通過ありきという点がみえ、文化国家である日本としては残念なことである。さらに、確証性に乏しい社会的効果を謳う文句が強調されていることも問題だ。今奈良に求められているのは高速道路ではなく、数世紀に及ぶ日本の首都奈良の歴史を、絶対に残していくという意気込みを持って、何らかの提言を投じることである。日本の都市の多くがそれを怠り、歴史的景観を壊し個性のないものへと変貌していった。世界の良識に応えるためにも、よりよい交通計画・道路計画を推進してもらいたい。

「二四号バイパスの東側に設置」……川本正信氏

最良のルートは、国道24号バイパスの東側に通すことだ。距離が最短で時間的ロスが小さいうえ、農地等が多く買収のコストが比較的小さいからである。平城宮跡の問題は、遺跡に害を与えない程度の深さでトンネルを整備すればよい。つまり、工費を少しでも小さく、通行時間のロスも小さく、結果的に国民の貴重な税金を無駄なく活用する効率のよい工事を進めて、一日も早い着工・整備を実施し、地域の発展に尽くしてもらいたい。

「平城宮址の地下を通過するルートについての一検討案」……島田仁氏

大和北道路は、最も低コストで経済的なルートであることが前提であり、将来の利用者に禍根を残してはならない。つまり、高速で快適に通過交通を処理できるルートが必要条件となる。また、ルート上の地下埋設物遺産を調査し、資料保存を図らなければならない。さらに周辺住民の生活と景観環境や地下埋設物への悪影響を回避できるという確証だった説明も必要である。地下水位と埋設遺産への影響は、トンネルで大深度シールド工法を用い、工期も3～10月と降雨期に限定する。さらに地下水位の観測設備と流入井を設置して、今後のために地下水位還元の措置も講じる。

「かけがえのない古都奈良の歴史遺産を壊さないで！」……鬼頭順子氏

歴史的、学術的に貴重な木簡や遺跡が眠っているのに、なぜ、わざわざ古都の真ん中に高速道路を通さなければならないのか。高架は古都の景観を台無しにし、また地下にすれば遺跡の破壊はもとより、トンネル工事による地下水への影響は必至である。地下水脈は複雑で、多少のボーリング調査で全容が解明されるものではない。平城宮・京跡で地下水位に変化を起こしてしまったら、木簡は消滅し、世界的に貴重な歴史的資料を永久に失うことになる。大和北道路を容認するわけにはいかない。4ルート案は再考してもらいたい。

「大和北道路は市街地（奈良市）を通すべきではない。」……小井修一氏

どんなに万全な対策をもってトンネルを施工しても、地下水の動きは予想できず、シミュレーションも確証だったものではない。したがって、木簡等の地下遺構を守るためにも、平城宮跡エリアに高速道路を通してはならない。また、今日まで生活道路の整備を軽視した結果、発生し続けている奈良市内の渋滞に対する改善策としては、通勤時のマイカー規制や観光でのバスアンドライド等のTDMである。高速道路による大気汚染のため、平城宮(京)エリアや、奈良の市街地を通すべきではない。高速道路で奈良市内の渋滞解消はできない。

「計画当初からの合理的なルートを」……磯三男氏

トンネル工事の各問題点については、技術的に十分対応できると考えている。むしろ、木簡など埋蔵文化財に対し問題があるのは、渋滞による温室効果ガスの増加、地球温暖化の方が深刻である。広大な平城宮跡が周囲の交通事情を悪化させているため、中央にトンネルを通し、交通渋滞の解決を図るべきだ。かつての奈良の都の宮にふさわしい、車が通らない遺跡にすることが肝要だ。地下で通せば、大極殿へのライフラインの供給にも利用できる。したがって、遺跡、環境、道路事情、観光等、総合的に考え、京奈和自動車道は地下をトンネル（かえてトンネルの方が、地下表層部の木簡など地下埋設遺跡を保護できる）で通すルートが一番合理的だと考える。

「最小の費用、最大の効果を大和北道路に期待します」……横田充洋氏

税金を納める市民としては、トンネルにかかる莫大な費用で別の手段を講じれば、もっと多くの移動手段が確保可能ではないか。例えば大和中央道の整備、国道24号の車線増加改良、山岳トンネルによる国道169号バイパスなど、南北道路を順次整備することで、平城京跡周辺は、アクアラインや東京の井荻トンネルのように法隆寺なみの高さの換気塔を数本建てる必要もなく、景色も含めほとんど手をつけずに渋滞が解消され、文化財の確実な保護が可能と思われる。

「京奈和自動車無くして、奈良県の発展無し」……奥田裕久氏

身体障害者にとって、幹線道路の渋滞や生活道路への車の大量進入は大変危険であり、早く渋滞を緩和し、走りやすく生活しやすい道路を願うばかりである。特に大和北道路の完成が早期実現すれば、企業誘致で奈良の産業活性化につながるはずである。将来大和北道路が、関西圏の大環状道路の一部として、人、文化、経済、観光の交流を広げる。高架化による景観の問題も、自然と溶け込んでいき、違和感がなくなると思う。古いものと新しいものの融合も必要である。

「大和北道路完成までの渋滞緩和策」……堀内重人氏

奈良県の東西幹線道路はまだよい方だが、南北の道路事情が脆弱だ。奈良市と第2の人口を持つ橿原市とを結ぶ高速道路が必要だと考えている。したがってルートとしては、木簡や文化財を保護する必要性から、佐保川の下を通し、奈良市から橿原市の高田バイパスまでの区間とすることで十分だと思う。ただし、着工から完成までに長い年月がかかる可能性があり、その間交通渋滞を悪化させることなく、渋滞を緩和したい。つまり道路建設と並行しながら、鉄道を有効利用するような対策、例えば公共交通おしの乗継ぎ改善や駅の増設、県内でゾーン運賃を適用させるなど、両面の対策が必要である。

「歴史の証人「木簡」を守ってください！」……館野和己氏

世界の中でも、これほど集中して木簡が出土しているところは、他にないとされるほど、平城京跡一帯は世界最大級の木簡出土遺跡である。地下トンネルは、地下水の中で腐らずに保存されてきた木簡にとっては大きな問題だ。数回の地質調査で、地下水位に影響がないと断言できるはずがない。道路の建設は車の交通量を増やし、トンネルにしる高架にしる、文化財への被害を拡大させるであろう。本当に高速道路が必要なのかどうか、他に方法はないのか、根本的なところに立ち戻って議論を進め、木簡を初めとした文化財との共存を図るべきだ。

「現行4ルート案を白紙に戻し、第5ルート案を提案」……水口信義氏

検討ルート4案については、いずれも懸案事項を早期に解決できるものとはいえない。そこで新たなルート案として、京奈和道路の木津、精華町のICから最終的に郡山または法隆寺のICまで一気に高架で継ぐ案を提案する。木津、精華町付近から生駒市、富雄川上を高架にすることで、用地の取得、建設費用が4ルート案より安価で済み、早期完成が可能。途中の国道163号線、阪奈道路、第2阪奈道路および国道24号線の交通事情の改善など利便性が増し、世界文化遺産の保護、地域住民の生活環境、自然環境の保護などを含めて「第5ルート」案が一步前進すると考えている。

6. 地域インタビュー

【資料 - 20】インタビュー実施報告（奈良市、大和郡山市）

[出典] 第 14 回大和北道路有識者委員会（平成 15 年 7 月 18 日開催）

（資料 - 2 - 4）インタビュー実施報告

奈良市インタビュー実施報告

1. 日 時 平成 15 年 6 月 30 日（月）15：30～17：15

2. 場 所 奈良市役所

3. 担当委員 神戸大学大学院法学研究科 教授 山下 淳

4. インタビュー対象者 12 名
（自治会等の方々：7 名、PTA 等の方々：5 名）

5. ご意見

自治会、PTA 等の方々から、以下のようなご意見がありました。

○奈良市内の交通状況について

- ・ 休日は、近距離であっても車やバスを利用するより電車を利用したほうが早く、地元の人は車を使わないようにしている。
- ・ 信号のタイミングが悪いのも渋滞の原因である。
- ・ 高速道路の高架により景観が悪くなるというが、渋滞がある方が景観上、問題である。
- ・ 地図やカーナビ上で主要地方道となっていることで、たくさん車が入ってくるが、実際は、道が狭い道路が多く対向車とすれ違いできないことで、渋滞の原因となっている。
- ・ 道路が狭く、渋滞していることで、もし災害が起きたとしても、救急車も消防車が入れない。
- ・ 歩道が未整備な道路が多く、また道路も狭いため歩行者は危ない。

○迂回路(抜け道)について

- ・ 国道 24 号が渋滞すると、生活道路へ迂回してくることで、住民は生活する上で困っている。
- ・ 迂回車両は、地元の車より他府県の車が多い。さらに他府県の土地感の無い人が生活道路で迷うことで、さらに渋滞を悪化させている。
- ・ 大和北道路の整備も重要であるが、生活道路へ車が流入してこないように、配慮して欲しい。

○通学路について

- ・通学路も歩道が無く、子供が車道を歩き危険である。
- ・通学路にも、多くの迂回車両が入ってくる。またスピードも速い。

○文化財について

- ・住民は、道路建設に伴なう文化財への影響はあまり気にならない。
- ・文化財を気にしては、我々自身の生活が確保できない。文化財より渋滞緩和が重要である。
- ・文化財は誰でも保存すればよいということは考えるが、そのために住民は困っている。
- ・文化財の問題はあると思うが、100%の合意を待っていては、いつまでたっても道路は出来ない。

○大和北道路について

- ・大和北道路が有料の場合、誰も使わず国道24号の渋滞は緩和しない。
- ・今後、大極殿が復元され、リニアモーターカーの運行で、観光客が増えた時のことも考えて計画して欲しい。
- ・インターチェンジの設置位置やアクセス道路が重要である。
- ・高速道路の整備も重要であるが、一般道も立体交差化を行い渋滞緩和を行って欲しい。
- ・保存か開発かどちらを選んでも、ある程度の犠牲は伴なう。
- ・渋滞によって大気汚染、騒音等が発生している。まず大和北道路を通す前に、現状の渋滞問題を先に考えて欲しい。また、大和北道路を通す際は、環境にも十分配慮して欲しい。
- ・一日も早く大和北道路を整備して欲しい。

○その他ご意見

- ・もう少し早い段階で、このような住民の意見を聞く機会を設けて欲しかった。
- ・古いものも大切であるが、今、住んでいる我々の便宜も図って欲しい。

以上

大和郡山市インタビュー実施報告

1. 日 時 平成15年5月27日(火) 17:30～19:30

2. 場 所 大和郡山市 南部公民館

3. 担当委員 神戸大学大学院法学研究科 教授 山下 淳

4. インタビュー対象者 10名
(自治会等の方々: 5名、PTA等の方々: 5名)

5. ご意見
自治会、PTA等の方々から、以下のようなご意見がありました。

○大和郡山市内の交通状況について

- ・大和郡山市内は、鉄道を越える方法として、ほとんど遮断機のため、朝の通勤時間は、特に渋滞が激しい。
- ・国道25号は狭く、歩道未整備区間では、自転車がトラックなどに巻き込まれそうになっているところをよく見る。

○大和中央道について

- ・大和中央道の整備が遅れているため、生活道路に通過車両が入ってくる。
- ・大和中央道が出来てから事故が増えた。子供の事故が心配である。

○迂回路(抜け道)について

- ・国道24号、25号が渋滞しているため、狭い道路へ迂回してくる。
- ・通行禁止規制を導入しているにも関わらず、車が入ってくる。
- ・1台が通ったら次の日は2台、3台と増え、それが一般道路(抜け道)化してくる。

○通学路について

- ・幹線道路につながっている道路、もしくは迂回ルートが通学路になっている場合が多く、危険を感じる。
- ・城下町で道が狭く、通学路においては、狭い道路の真中を車が走り、その両側を子供たちが通学している。基本的に道幅が狭いため、歩行者の通行スペースが確保できない。

○ P T Aの活動について

- ・学校単位で自分たちの地域について話し合い、市のP T Aでは、それらの意見や情報を集約している。
- ・通学路の点検や年に数回話し合いを行い、危険箇所には、カーブミラーや信号、横断歩道等の設置をしてもらっている。しかし、道幅が狭いという根本的な問題に関しては、なかなか対応が難しいようである。
- ・春秋の交通安全期間の時は、通学路に立ち注意喚起を促すが、毎日実施しなくては効果が出ない。交通安全は、自分の意識の中に認識を持つこと、毎日の積み重ねが大切である。

○ 文化財について

- ・文化財を避けるため少々迂回することになっても、渋滞緩和のため道路を作って欲しい。
- ・渋滞を緩和するため(道路を作るため)に文化財を少々犠牲にすることになっても仕方が無い。

○ 大和北道路について

- ・高速道路利用者が増え、渋滞緩和が期待されるが、逆に利用者が集中し、国道24号、25号の渋滞を悪化させるのではないか。
- ・遠距離の通過交通だけを優先的に考えるだけでは、県内の渋滞は全然解消しない。
- ・高速道路が出来たとしても、現在の道路網では地域の交通渋滞が解消できないため、一般道やインターチェンジへのアクセス道路も併せて整備すべきである。
- ・整備ポイントは、インターチェンジの位置と接続道路の整備である。
- ・道がよくなり走りやすくなったことで事故が減るかということ、一概にそうとは言えず、走りやすくなったことで、事故が増える場合もある。
- ・道路が出来る前は、騒音等、環境対策は実施するということであったが、完成後やはり少なからず問題が出てくる。
- ・どのルートを選んでも自然が無くなる。
- ・全部が満足できるようなものは絶対できない。トータル的な発想で検討して欲しい。

○ その他ご意見

- ・我々だけではなく幅広く一般の方々のご意見を伺って、時間をかけて、よく考えて欲しい。

以上

7. 委員会への申し入れ等

【資料 - 21】文化財保護の観点から京奈和自動車道に関するご意見等をいただいた団体一覧

[出典] 第 8 回大和北道路有識者委員会（平成 15 年 3 月 28 日開催）
 （資料 - 2 - 2）無作為抽出アンケート以外 / 自由意見の分析結果
 < 委員会での報告後にご意見をいただいた団体を追加 >

文化財保護の観点から京奈和自動車道に関するご意見等をいただいた団体一覧

	組織名	表 題
H12. 3.9	奈良県の文化と自然と 景観の世界遺産登録を 実現し保全継承を求め る市民ネットワーク	世界遺産平城宮跡の京奈和自動車道の地下通過計画を危惧する申し入れ書
6.14	木簡学会	京奈和自動車道の平城宮跡地下通過計画の撤回を求める要望書
6.17	日本史研究会	京奈和自動車道の平城宮跡地下トンネル建設計画の撤回を求める要望書
7.8	日本歴史学協会 日本歴史学協会文化財 保護特別委員会	京奈和自動車道の平城宮跡地下工事計画の撤回を求める要望書
7.8	奈良県歴史教育者協議 会	京奈和自動車道の平城宮跡地下通過計画の撤回を求める計画書
7.14	京都民科歴史部会	京奈和自動車道の平城宮跡「地下トンネル計画」の撤回を求める要望書
7.28	歴史学研究会	京奈和自動車道の平城宮・京跡地下通過計画の撤回を求める声明
7.31	考古学研究会	京奈和自動車道の平城宮跡地下トンネル建設計画の撤回を求める要望書
8.10	日本考古学協会 埋蔵文化財保護対策委 員会	平城宮跡地下の高速道路通過計画の白紙撤回を求める要望書
8.15	古代交通研究会	京奈和自動車道の平城宮跡付近地下通過計画の撤回を求める要望書
9.11	大阪歴史学会	京奈和自動車道建設計画の見直しを求める要望書
10.5	（財）史学会	平城宮跡地下への道路計画の撤回を求める要望書
10.13	歴史科学協議会	京奈和自動車道を平城京跡地に通す計画の撤回を求める決議
12.23	中国・四国古代史研究 会	京奈和自動車道の平城宮跡地下通過計画の撤回を求める要望書
H13. 5.22	日本考古学協会	平城宮跡地下の高速道路通過計画に反対する決議
6.10	文化財保存全国協議会	京奈和自動車道の平城宮・平城京跡通過計画に反対する決議
7.5	奈良県文化財研究所職 員組合	京奈和自動車道の平城宮跡およびその周辺の地下通過計画の撤回を求める 要望書

文化財保護の観点から京奈和自動車道に関するご意見等をいただいた団体一覧

(続き)

	組織名	表 題
12.1	シンポジウム「世界遺産平城宮跡を考える」 実行委員会	京奈和高速自動車道の世界遺産平城宮跡地下通過計画の白紙撤回を求める アピール
H14. 2.6	高速道路から世界遺産・平城京を守る会	京奈和高速自動車道の平城宮・京跡通過をやめてください(署名)
H15. 1.14	高速道路から世界遺産・平城京を守る会	公聴会や公開討論会の開催などを求める申し入れ書 (大和北道路有識者委員会に申し入れ)
5.11	文化財保存全国協議会	高速道路の世界遺産平城宮跡・京跡通過計画の撤回を求める決議
5.29	シンポジウム「世界遺産平城宮跡を考える」 実行委員会	「京奈和高速自動車道の世界遺産平城宮(京)跡地下通過計画の白紙撤回 を求めるアピール」に賛同する有識者名簿の提出について
5.24	歴史学研究会	京奈和自動車道のルート決定に際して平城宮・京跡の保存を求める特別決 議
6.6	高速道路から世界遺産・平城京を守る会	京奈和自動車道の平城宮・京跡通過をやめてください 署名
6.6	高速道路から世界遺産・平城京を守る会	大和北道路有識者委員会への申し入れ 「推奨案」の作成と国交省への提出を前に
6.11	木簡学会委員会	大和北道路の平城宮跡直下トンネル案の即時撤回を求める要望書
8.7	奈良文化財研究所職員 組合	京奈和自動車道の平城宮跡及びその周辺の地下通過計画の撤回を重ねて求 める要望書
8.25	第31回古代史サマーセ ミナー	奈良の文化財に悪影響を与える高速道路計画の再考を求める